

施策評価

基本方針	03 子どもがのびのびと成長し地域の絆で育むまちをつくる					
施策	14 学校教育					
施策目標	地域とともにある学校で児童生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成し、主体性と思いやりの心を持つ人を育てます。					
評価指標	指標名	各学校の取組に対するアンケートで「満足（８割）」と答えた保護者の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	34.0	目標値（R7年度）	60.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	30.0	—	—	—	—
	達成率	50.0	—	—	—	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	1,356,785	—	—	—	—
	実績	835,519	—	—	—	—
【施策評価】評価責任者	教育部長					
施策目標・評価指標に対する令和３年度の主な成果と課題	新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、学校教育は前年度に続き、様々な面で制限を強いられる１年間となりました。しかし、保護者・地域の皆様から惜しめない理解と協力、支援をいただくことにより、どの学校も「今できる最大限の教育活動」を展開し、知・徳・体にわたる「生きる力」を児童生徒に育むことができました。今後の課題は「ウイズ・コロナ」の教育活動を具現化しつつ、これまで以上に学校・家庭・地域三者が連携を深め「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」を推進していくことです。					
各施策の展開に対する令和３年度の主な成果と課題	01 確かな学力の育成、豊かな心の育成及び健康・体力の増進					
	指標名	埼玉県学力・学習状況調査における学力を伸ばした児童生徒の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	64.8	目標値（R7年度）	85.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	74.5	—	—	—	—
	達成率	87.6	—	—	—	—
	埼玉県学力・学習状況調査結果の分析を各学校で行い、分析結果を「主体的・対話的で深い学び」の実施や児童生徒個々のつまずきに応じたきめ細やかな指導、学級経営の改善等に生かしました。今後は埼玉県学力・学習状況調査結果における「非認知能力」に着目した研究を実施し、児童生徒の一層の学力向上を目指します。					
	02 質の高い学校教育の推進					
	指標名	授業における児童生徒のＩＣＴ機器活用率				
	単位	%	現状値（R元年度）	0.8	目標値（R7年度）	95.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	57.0	—	—	—	—
	達成率	60.0	—	—	—	—
	日海市ＧＩＧＡスクール構想に基づく全児童生徒への１人１台学習用端末の貸与、コロナ禍における学習保障のための遠隔授業用大型ディスプレイの導入を行い、授業等におけるＩＣＴ機器の活用を進めました。更に効果的な活用について研究を進め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させていきます。					
	03 コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進					
	指標名	中学校１年生の不登校の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	2.2	目標値（R7年度）	1.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	5.2	—	—	—	—
	達成率	△250.0	—	—	—	—
	国内における新型コロナウイルスの感染拡大が急激に進んだ令和２年３月以降、中１生徒のみならず不登校の割合が急増しました。今後も校内教育相談体制の確立を基盤に、ふれあい相談員・スクールソーシャルワーカーや県費スクールカウンセラーの活用をはじめ、関係機関との連携を一層強化し不登校対策を推進します。					
	04 小・中学校の統合を含む施設環境の維持向上					
	指標名	施設一体型一貫校の設置数				
	単位	校	現状値（R元年度）	0	目標値（R7年度）	3
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	0	—	—	—	—
	達成率	0.0	—	—	—	—
	各学校施設の不良箇所の修繕等、維持管理を行いました。また、高萩北中学校大規模改修工事のための改修工事設計を実施し、補正予算にて工事費を前倒しして事業を進めました。更に、義務教育学校整備のため、武蔵台小中学校整備工事設計を実施し、続く高根小中学校、高麗小中学校について関係者と調整を進めました。					
	05 学校給食の充実					
	指標名	給食に地場産食材を使用した日の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	57.0	目標値（R7年度）	60.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	62.6	—	—	—	—
	達成率	104.3	—	—	—	—
	児童生徒の心身の健全な発達に資するため、栄養バランスに配慮し安全で安心な給食を提供しました。設備面では老朽化したボイラーや蒸気配管の施設改修、焼き物機や消毒保管機等の厨房機器を更新しました。また、令和５年４月に開始する調理・配送業務委託に向け、公募型プロポーザル方式により事業者を選定しました。					

事務事業評価

施策の展開	01 確かな学力の育成、豊かな心の育成及び健康・体力の増進		
施策の展開概要	① 児童生徒一人一人の学力を伸ばす教育を推進します。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現により、思考力、判断力、表現力など新たな時代に求められる資質・能力を育成します。 ② 小・中学校に英語指導助手（ＡＥＴ）を配置するなど、外国語教育の充実を推進します。 ③ 学習の基盤となる資質・能力の一つである情報活用能力を育成するため、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な学習の充実を推進します。 ④ 豊かな心を育むため、体験活動の充実や道徳教育、人権教育を推進し意識の向上を図ります。 ⑤ 各学校や教育センターに相談員を配置するなど、不登校やいじめの未然防止、早期発見・早期対応を図ります。また、教育センターに臨床心理士を配置するなど、専門性の高い相談にも対応していきます。 ⑥ 基本的な生活習慣の確立などの健康の保持増進、体力向上を図ることで、健やかな体を育成します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
英語教育推進事業	A	学校生活でＡＥＴと接する機会が増え、子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができました。	ＡＥＴが担当する授業時数を増やし、英語教育や英語活動の充実に努めていますが、よりきめ細かい指導を実現するため、ＡＥＴの増員を検討する必要があります。
学校教育課			
22,422			
210			
学校適応指導教室事業	A	学校適応指導教室の児童生徒15人のうち、中学生7人が学校に復帰しました。中学3年生6人は全員志望校に合格することができました。	不登校児童生徒数の増加とともに、問題も複雑化しています。心理士等による面談が行える機会を増やす等、より専門的な対応を行う必要があります。
学校教育課			
79			
211			
教育相談事業	A	教育相談員2人で電話や面接による教育相談を行い、相談内容に応じたカウンセリングや助言など、必要な支援を行うことができました。	相談件数が増加し、相談内容も複雑化しています。関係機関を含めたケース会議を行い、各々の立場で意見交換を進め、児童生徒に寄り添いながら取り組む必要があります。
学校教育課			
29			
211			
就学支援事業	A	学校の判断だけでなく、医療関係者等、専門的な分野からの助言を受け、望ましい就学先の判断やその後に必要な支援等の方針を協議することができました。	教育相談件数の増加とともに、発達障がい等の児童生徒数も増加しています。専門的な検査を実施できる人員の増加が必要となっています。
学校教育課			
515			
212			
就学時健康診断事業	A	就学時健康診断を実施し、就学予定者の心身の発達状況を把握するとともに、保護者の子どもに対する状況認識が深まり、就学準備につながりました。	この事業は、学校保健安全法に基づき実施が義務付けられており、就学予定者が就学時健康診断を受診することができるよう、引き続き実施する必要があります。
学校教育課			
1,410			
212			
学習サポート事業	A	「日高塾」を開催することで、子どもたちの自主的な学びの機会を創出することができました。また、外部指導者の指導により、部活動の充実を図ることができました。	「日高塾」の開催に当たり、講師等の人材を継続して確保する必要があります。部活動の地域移行に向け、多面的・多角的な視点から検討を進める必要があります。
学校教育課			
923			
213			

小学校健康保健管理事業	A	豊かな心の育成と健康や体力の向上を目指し、質の高い学校教育を推進するに当たり、その礎となる児童及び教職員の健康について、保持増進を図ることができました。	学校保健安全法に基づき実施されている事業であり、引き続き児童及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の充実につなげていく必要があります。
学校教育課			
10,903			
217			
小学校学校教材整備事業	A	新学習指導要領等の教育内容に即した学校図書、教科用品等の消耗品や教材備品等を購入し、教育環境の充実を図ることができました。	新学習指導要領に基づいた教育活動を実践するためには、学校図書、教科用品等の消耗品や準教科書、教材備品等を精査し、計画的な整備を進めていく必要があります。
学校教育課			
12,503			
218			
小学校教職員用指導書整備事業	A	新学習指導要領に沿った内容の教師用教科書や指導書を活用することで、指導内容や指導方法などの工夫や改善がなされ、学習の充実を図ることができました。	教科書は4年ごとに採択されるため、計画的に教師用の教科書や指導書を整備する必要があります。
学校教育課			
0			
218			
小学校社会科副読本作成事業	A	新学習指導要領に対応した副読本を活用した指導の展開について、研究することができました。	教育の情報化に伴い、副読本のデジタル化の検討を進め、子どもたちにとってより活用しやすいものにしていく必要があります。
学校教育課			
15			
219			
小学校児童就学援助費及び奨励費補助事業	A	経済的に就学困難な児童や特別支援学級へ就学する児童の保護者に対して支援することにより、義務教育の円滑な実施や保護者の経済的負担を軽減することができました。	就学援助費及び奨励費の補助単価が上昇傾向にあることやオンライン通信費が今後必要となる可能性があるため、財源の確保が課題となっています。
学校教育課			
19,854			
219			
中学校健康保健管理事業	A	豊かな心の育成と健康や体力の向上を目指し、質の高い学校教育を推進するに当たり、その礎となる生徒及び教職員の健康について、保持増進を図ることができました。	学校保健安全法に基づき実施されている事業であり、引き続き生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の充実につなげていく必要があります。
学校教育課			
8,259			
221			
院内中学校設立事業	A	必要な備品等の整備を進め、埼玉医科大学国際医療センターに入院する中学生を対象とした「高麗川中学校院内学級」を開設することができました。	オンライン授業を円滑に実施するため、安定的な通信環境を維持する必要があります。
学校教育課			
1,127			
221			
中学校学校教材整備事業	A	新学習指導要領等の教育内容に即した学校図書、教科用品等の消耗品や教材備品等を購入し、教育環境の充実を図ることができました。	新学習指導要領に基づいた教育活動を実践するためには、学校図書、教科用品等の消耗品や副読本、教材備品等を精査し、計画的な整備を進めていく必要があります。
学校教育課			
11,422			
222			
中学校教職員用指導書整備事業	A	新学習指導要領に沿った内容の教師用教科書や指導書を活用することで、指導内容や指導方法などの工夫や改善がなされ、学習の充実を図ることができました。	教科書は4年ごとに採択されるため、計画的に教師用の教科書や指導書を整備する必要があります。
学校教育課			
9,771			
222			
中学生キャリア教育推進事業	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、社会体験チャレンジは中止となりましたが、各学校が代替した取組を実施することで、望ましい職業観を養うことができました。	何らかの事情で社会体験チャレンジが実施できない場合も、各学校が工夫して取り組めるよう準備する必要があります。
学校教育課			
44			
223			

中学校生徒就学援助費及び 奨励費補助事業	A	経済的に就学困難な生徒や特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対して支援することにより、義務教育の円滑な実施や保護者の経済的負担を軽減することができました。	就学援助費及び奨励費の補助単価が上昇傾向にあることやオンライン通信費が今後必要となる可能性があるため、財源の確保が課題となっています。
学校教育課			
17,246			
223			

事務事業評価

施策の展開	02 質の高い学校教育の推進		
施策の展開概要	① 教職員の資質向上を図るため、専門性の高い講師を招いて、教職員研修の充実を図ります。 ② G I G A スクール構想を実現し、児童生徒一人一人が I C T を十分に活用し授業に取り組める環境の整備を行います。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
入学準備金融資事務	A	広報ひだかや市ホームページ等を活用し、広く制度の周知を図ることができました。	融資を求めている人に制度の周知ができるよう、引き続き、幅広く広報する必要があります。
教育総務課			
523			
203			
学校運営事務	A	経常経費の上昇を抑え、効率的かつ効果的な予算執行を行いました。	全て経常的な経費ですが、今後も効率的かつ効果的な予算執行に努めます。
学校教育課			
39, 263			
213			
教育研究会支援事業	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、事業の多くが中止となりましたが、精査や工夫して取り組むことで、効果的・効率的に指導力の養成を図ることができました。	今後も社会情勢等によって変化が求められる学校教育現場において、真に必要とされる教育事業を十分に精査し、実施していきます。
学校教育課			
0			
214			
教育センター事務	A	教育センターの業務全般に係る事務について、適切に実施することができました。	全て経常的な経費ですが、今後も効率的かつ効果的な予算執行に努めます。
学校教育課			
1, 081			
214			
教職員指導力向上事業	A	教育講演会はオンラインでの実施となりましたが、講師との双方向のやり取りを通して、教職員の資質の向上を図る良い機会となりました。	講師の選定に当たっては、最新の教育動向と日高市の実情を基に、考慮していく必要があります。
学校教育課			
137			
215			
海外留学疑似体験事業	A	海外留学を擬似的に体験できるよう、再現性や臨場感のある会場設営を行い、楽しみながら英語が学べるよう、工夫やアイディアを凝らして充実した事業となりました。	事業の実施が夏季休業中となるため、学校側の全面的な協力が得られにくく、生徒の安全面に配慮する必要があります。
学校教育課			
3, 782			
215			
教育の情報化事業	A	小中学校に大型ディスプレイを導入し、デジタル教材などを大画面に表示して授業内容の共有を図るなど、よりクオリティの高い学習活動を確保することができました。	I C T 環境の充実を円滑に進めるため、老朽化したサーバや P C の入れ替えにより、安定したネットワーク環境を整備する必要があります。
学校教育課			
79, 382			
216			
小学校 I C T 環境整備事業	A	学習用タブレット端末など I C T 機器を活用することで、児童の関心や意欲を高め、主体的な学習活動に結び付けることができました。	各学校における I C T 機器活用の促進と、主体的・対話的で深い学びの実現のため、教員研修の充実を図る必要があります。
学校教育課			
27, 085			
220			

中学校ＩＣＴ環境整備事業	A	学習用タブレット端末などＩＣＴ機器を活用することで、生徒の関心や意欲を高め、主体的な学習活動に結び付けることができました。	各学校におけるＩＣＴ機器活用の促進と、主体的・対話的で深い学びの実現のため、教育研修の充実を図る必要があります。
学校教育課			
830			
224			
教職員研究発表事業	A	紙面発表となりましたが、研究主題に基づく研究を深め、更に発表を实践することで、指導方法の工夫や改善を図ることができました。	学校が主体的に研究を進めるに当たって、支援策を検討する必要があります。
学校教育課			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	03 コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進		
施策の展開概要	① 学校運営協議会を中心に学校、家庭、地域が連携・協働し、「地域とともにある学校づくり」を推進します。 ② 9年間を一貫した系統性や連続性を重視した教育内容の指導を推進します。また、地域の特性を生かしたコミュニティ・スクールを基盤（基礎）とした教育を推進します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 （良かった点、成果を上げた点など）	改善すべき事項 （問題点、課題点、解決方策など）
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
コミュニティ・スクール推進事業	A	関係する保護者や地域住民を対象とした地域説明会や全体説明会を開催することで、本市における小中一貫教育の取組や方向性を周知・共有することができました。	各地区の課題解決や目標実現に向け、地域との連携や協働を進める必要があります。また、施設一体型義務教育学校の開校に向け、着実に取り組む必要があります。
学校教育課			
673			
216			

事務事業評価

施策の展開	04 小・中学校の統合を含む施設環境の維持向上		
施策の展開概要	① 安全で快適な学習環境を確保するため、既存施設の老朽化対策などを図ります。また、小中一貫教育を見据えた学校教育施設の改修を推進します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
小学校維持管理事業	A	老朽化した箇所を修繕し、適切に維持管理を行ったことにより、施設が要因となった負傷事故もなく、児童が安心・安全に学校施設を利用することができました。	施設の老朽化に伴い、修繕箇所は増加傾向にあります。限られた予算の中でより効果的、計画的な維持管理を行っていく必要があります。
教育総務課			
114,622			
204			
中学校維持管理事業	A	老朽化した箇所を修繕し、適切に維持管理を行ったことにより、施設が要因となった負傷事故もなく、生徒が安心・安全に学校施設を利用することができました。	施設の老朽化に伴い、修繕箇所は増加傾向にあります。限られた予算の中でより効果的、計画的な維持管理を行っていく必要があります。
教育総務課			
78,017			
205			
高萩北中学校校舎改修事業	A	大規模改修に向け関係者と調整を図りながら工事設計を完了させることができました。	改修工事を夏季休業期間中に実施するに当たり、綿密な工程計画を検討する必要があります。
教育総務課			
20,088			
205			

事務事業評価

施策の展開	05 学校給食の充実		
施策の展開概要	① 児童生徒の心と体が大きく成長できるよう安全で安心な学校給食を提供するため、衛生管理を徹底します。また、地場産食材を積極的に使用するとともに、児童生徒が適切な食習慣を身に付け、生涯にわたる健康づくりの基礎を培うよう、食育の充実を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
学校給食運営事業	A	栄養のバランスに配慮した献立内容で、安全安心な給食を提供することで、児童生徒の心身の健全な発達に資することができました。	調理作業員の健康管理、危機管理、衛生管理の徹底により、食中毒発生や異物混入の防止に努めます。
教育総務課			
155,051			
208			
学校給食費管理事業	A	各学校で集金した学校給食費の収納管理及び食材費の支払いについては、市の会計規則等に基づいて実施し、会計処理の透明化と安全性の確保が図れました。	各学校での学校給食費の徴収事務や未納保護者への督促などの対応が教職員の負担となっていることから、市による実施が求められています。
教育総務課			
198,463			
208			

施策評価

基本方針	03 子どもがのびのびと成長し地域の絆で育むまちをつくる					
施策	15 青少年健全育成					
施策目標	地域と連携・協働した教育の推進により、学校、家庭、地域が一体となり、次世代を担う子どもたちの健全な育成と郷土愛の醸成を図ります。					
評価指標	指標名	子育てについて地域で支え合う雰囲気があると感じている人の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	21.0	目標値（R7年度）	22.5
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	31.9	—	—	—	—
	達成率	141.8	—	—	—	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	3,642	—	—	—	—
	実績	1,794	—	—	—	—
【施策評価】評価責任者	教育部長					
施策目標・評価指標に対する令和3年度の主な成果と課題	地域と連携・協働した教育の推進により、学校、家庭、地域が一体となり、次世代を担う子どもたちの健全な育成と郷土愛の醸成を図ることを目標にしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、思うような活動ができませんでした。今後は、新生活様式を取り入れ、可能な範囲で活動を再開していく必要があります。					
各施策の展開に対する令和3年度の主な成果と課題	01 郷土愛の醸成					
	指標名	ひ・まわり探検隊の参加率				
	単位	%	現状値（R元年度）	18.2	目標値（R7年度）	20.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	12.1	—	—	—	—
	達成率	60.5	—	—	—	—
	ひ・まわり探検隊については、新型コロナウイルス感染症の影響からスポーツや調理を伴う教室を取りやめ、教室数は例年の7割、募集人数は例年の6割という条件下で実施しました。今後は新生活様式による新たな視点で教室を開催し、参加者を増やしていきたいと考えています。					
	02 青少年の健全育成					
	指標名	刑法犯少年の人口比				
	単位	%	現状値（R元年度）	1.8	目標値（R7年度）	3.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	—	—	—	—	—
	達成率	—	—	—	—	—
	青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会については、地域ぐるみでの青少年の非行防止対策と有害環境の浄化及び「日高市いじめ防止等に関わる取り組み」について、書面での協議を行いました。					
	03 体験活動・多世代との交流活動の推進					
	指標名	放課後子ども教室参加延べ人数（6小学校）				
	単位	人	現状値（R元年度）	3,005	目標値（R7年度）	3,200
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	0	—	—	—	—
	達成率	0.0	—	—	—	—
	放課後子ども教室については、新型コロナウイルス感染症の影響から6小学校全てで開催できませんでした。令和4年度中の活動再開に向けて各学校長の同意のもと、実行委員長会議を開催し意向を確認しました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
指標名						
単位						
実績値						
達成率						

事務事業評価

施策の展開	01 郷土愛の醸成		
施策の展開概要	① 地域の歴史や文化、産業などを学ぶ機会を提供し、郷土愛の醸成を図ります。 ② 講座や体験教室、イベント等を通じて、市の歴史や文化などを伝承します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
ひ・まわり探検隊事業	A	新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、隊員、指導者が安全に安心して参加することができました。	実行委員等のボランティアが不足しています。各中学校、埼玉女子短期大学、日高高等学校等の連携を検討していく必要があります。
生涯学習課			
400			
226			
子ども会育成事業	A	新型コロナウイルス感染拡大により、相撲大会、かるた大会を中止しました。	子どもの数の減少により、解散する単位子ども会が出てきました。単位子ども会の継続について支援を検討する必要があります。
生涯学習課			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	02 青少年の健全育成		
施策の展開概要	① 学校、家庭、地域などが連携した非行防止キャンペーンや講演会、地域行事での啓発活動など、青少年育成のための活動を推進します。 ② 青少年の非行や犯罪を未然に防止するため、地域パトロールを継続して実施するとともに、啓発活動を推進します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
青少年育成事業	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「青少年の主張大会」は書類審査により開催しました。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今までどおりの事業開催が困難な中、安全に配慮し、開催できる方法を検討していきます。
生涯学習課			
798			
227			
成人式開催事業	A	新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、安心安全な式典を開催しました。また、式典の様子をライブ配信しました。	新型コロナウイルスの感染状況によって、開催方法を変更する必要があることから、早期に開催方法や周知方法を決定する必要があります。
生涯学習課			
596			
227			

事務事業評価

施策の展開	03 体験活動・多世代との交流活動の推進		
施策の展開概要	① 地域でのコミュニケーションを支援するため、大人と子どもたちが交流できる場と子どもの居場所づくりを進めます。 ② 地域で子どもを育てる環境をつくるため、学校、家庭、地域と連携した事業を実施します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
放課後子ども教室推進事業	A	新型コロナウイルス感染拡大により、事業を中止しました。	事業実施に当たっては、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する必要があります。
生涯学習課			
0			
228			

施策評価

基本方針	04 豊かな自然と調和したまちをつくる					
施策	16 生活環境					
施策目標	快適で衛生的な生活環境の確保に努めます。					
評価指標	指標名	住んでいる地域について快適な環境だと感じている人の割合				
	単位	%	現状値（R2年度）	82.7	目標値（R7年度）	83.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	78.2	—	—	—	—
	達成率	94.2	—	—	—	—
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
施策コスト ※単位＝千円	予算	17,793	—	—	—	—
	実績	10,861	—	—	—	—
	【施策評価】評価責任者	市民生活部長				
施策目標・評価指標に対する令和3年度の主な成果と課題	高指山周辺をふるさとの森第2号地に指定しました。また、水質汚濁、騒音、振動、悪臭等の市民相談について、関係機関と連携し早期解決に向けて対応しました。快適な生活環境を維持するため、マナーとモラル向上の啓発を更に進める必要があります。					
各施策の展開に対する令和3年度の主な成果と課題	01 生活環境の保全					
	指標名	空き地の適正管理受託件数				
	単位	件	現状値（R元年度）	16	目標値（R7年度）	25
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	15	—	—	—	—
	達成率	60.0	—	—	—	—
	土地所有者が高齢であったり遠方に居住していることなどで不良状態となっている空き地については、条例に基づき適切な雑草等の除去を行い、清潔な生活環境を保持しました。					
	02 河川等の水質汚濁の防止					
	指標名	合併処理浄化槽の設置割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	72.6	目標値（R7年度）	75.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	74.1	—	—	—	—
	達成率	98.8	—	—	—	—
	地震等の災害に強く、被災時にも迅速に衛生環境を確保できる強靱な污水处理システムである合併浄化槽への転換は順調に進んでいます。今後は、適切な保守点検等についても周知に努めます。					

事務事業評価

施策の展開	01 生活環境の保全		
施策の展開概要	① 騒音、振動及び悪臭などの公害問題、空き地の雑草問題、ごみ屋敷、害虫の駆除など多様化、複雑化している市民相談に対応します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
生活環境衛生事業	A	環境審議会で「ふるさとの森第2号地」の指定についての審議を経て、高指山周辺を指定することができました。	あき地等の相談件数が多数あるため、雑草等の除去業務委託の件数を増やす必要があります。
環境課			
473			
72			
公害対策事業	A	公害（水質汚濁、騒音、振動、悪臭）などの市民相談に対応しました。また、大気汚染状況を把握するために工場から排出される「ばいじん量」を測定しました。	公害苦情処理件数が増加傾向にあるため、関係機関と連携し、早期解決に向けて円滑に進める必要があります。
環境課			
1,317			
72			
狂犬病予防対策事業	A	狂犬病予防集合注射を5日間実施し、786頭の予防接種を行うことができました。また、狂犬病予防注射未実施の飼い主にお知らせを郵送し、予防接種の徹底を図りました。	今後も狂犬病予防注射未実施の犬の飼い主に対して、接種を促すための啓発等を行う必要があります。
環境課			
247			
73			

事務事業評価

施策の展開	02 河川等の水質汚濁の防止		
施策の展開概要	① 単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換、及び合併処理浄化槽の適正な維持管理を促進することで、放流水による河川等の水質汚濁を防止します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
生活排水対策事業	A	令和2年度までの合併処理浄化槽転換補助強化期間は終了しましたが、引き続き単独浄化槽から合併浄化槽への転換を促し、公共水域の保全を図ることができました。	浄化槽の維持管理について周知し、特に法定検査の受検率向上に努める必要があります。
環境課			
8,824			
75			

施策評価

基本方針	04 豊かな自然と調和したまちをつくる					
施策	17 自然環境					
施策目標	豊かな自然を次世代に引き継ぐため、自然環境の保全や地球温暖化対策を推進します。					
評価指標	指標名	住んでいる地域の自然環境は守られていると感じている人の割合				
	単位	%	現状値 (R元年度)	58.2	目標値 (R7年度)	61.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	67.3	—	—	—	—
	達成率	110.3	—	—	—	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	20,380	—	—	—	—
	実績	16,559	—	—	—	—
【施策評価】評価責任者	市民生活部長					
施策目標・評価指標に対する令和3年度の主な成果と課題	埼玉県西部地域まちづくり協議会の「ゼロカーボンシティ共同宣言」を実践するため、市役所庁内に地球温暖化対策の推進に係る組織規則を整備し、庁内委員会、推進責任者を設置し地球温暖化防止意識の向上に努めました。					
各施策の展開に対する令和3年度の主な成果と課題	01 緑と清流の保全					
	指標名	子ども達を対象とした環境イベント等の開催回数				
	単位	回／年	現状値 (R元年度)	4	目標値 (R7年度)	6
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	3	—	—	—	—
	達成率	50.0	—	—	—	—
	清流保全ポスターを募集し、児童生徒の環境保全への関心を高めることができました。また、小学生によるウグイ放流を行い、清流保全の意識高揚を図りました。					
	02 地球温暖化やその他の環境問題への取組					
	指標名	エコアクション21認証・登録件数				
	単位	件	現状値 (R元年度)	1	目標値 (R7年度)	5
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	1	—	—	—	—
	達成率	20.0	—	—	—	—
	エコアクション21は、事業所や従業員にとって大きな負担がかかることなく活動できる取り組みやすい環境マネジメントシステムですが、周知が行き届かなかったこと等により取り組む事業所を増やすことができませんでした。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					

事務事業評価

施策の展開	01 緑と清流の保全		
施策の展開概要	① 日和田山や高麗川をはじめとする豊かな自然環境を次世代に継承するため、緑と清流の保全に取り組みます。 ② 良好な自然環境を保全するため、ふるさとの森第2号地を指定します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
清流保全対策事業	A	清流保全啓発ポスターは、市内の児童から多くの作品を応募いただきました。ウグイ放流では生きた魚に触れる体験を通して、清流保全への関心を高めることができました。	生活排水対策事業と合わせ、生活排水が河川に与える影響を市民へ周知し、水質保全に対する効果的な啓発を行っています。
環境課			
1,341			
75			
緑の保全推進事業	A	緑の基金を活用し、高指山無線中継所跡地を取得、高指山周辺土地所有者の同意を得て、新たに「ふるさとの森第2号地」として指定しました。	ナラ枯れの発生などを早期に発見し、適正に管理をしていく必要があります。
環境課			
13,218			
76			

事務事業評価

施策の展開	02 地球温暖化やその他の環境問題への取組		
施策の展開概要	① 地球温暖化防止対策を推進するため、脱炭素社会の実現に向けた方策を検討するほか、省エネルギー化の取組を進めます。 ② 在来の生態系に影響を及ぼす特定外来生物の防除対策を推進します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
地球温暖化対策推進事業	A	日高市地球温暖化対策の推進に係る組織規則を整備し、庁内委員会及び各所属に推進責任者を設置すること等により、地球温暖化防止意識の向上につながりました。	2050年カーボンニュートラルを実現するため、ダイア5市連携による取組のほか、日高市地球温暖化対策実行計画に基づく取組を積極的に実施していく必要があります。
環境課			
37			
73			
鳥獣対策事業	A	日高猟友会とのアライグマ回収運搬処理業務委託契約を締結し、被害防除を効率的に実施しました。	アライグマの捕獲数が大幅に増加したため、今後の対策について、検討が必要です。
環境課			
1,963			
76			

施策評価

基本方針	04 豊かな自然と調和したまちをつくる					
施策	18 循環型社会					
施策目標	循環型社会構築のため、限りある資源を有効に活用するとともに、衛生的な生活環境を確保するため、市民生活から排出される廃棄物を適正に処理します。					
評価指標	指標名	市民1人当たりの可燃ごみ排出量				
	単位	kg/人	現状値 (R元年度)	192	目標値 (R7年度)	183
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	195.8	—	—	—	—
	達成率	△42.2	—	—	—	—
施策コスト ※単位=千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	947,465	—	—	—	—
	実績	936,376	—	—	—	—
【施策評価】評価責任者	市民生活部長					
施策目標・評価指標に対する令和3年度の主な成果と課題	家庭系可燃ごみの量は、前年度比で1人当たり年間3.8kg減少しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症に係る「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」に伴う外出自粛要請等による巣ごもり需要の拡大や不用品の整理等を行う家庭の増加が、減少量に影響を及ぼしているものと考えられます。					
各施策の展開に対する令和3年度の主な成果と課題	01 ごみの減量と再資源化の推進					
	指標名	ごみ総排出量				
	単位	t	現状値 (R元年度)	17,642	目標値 (R7年度)	16,211
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	17,253	—	—	—	—
	達成率	27.2	—	—	—	—
	家庭系については、前年度比で削減することができました。その一方で、事業活動の再開に伴い事業系のごみは増加しています。					
	02 ごみの適正な処理					
	指標名	ごみリサイクル率				
	単位	%	現状値 (R元年度)	99.7	目標値 (R7年度)	99.8
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	99.7	—	—	—	—
	達成率	99.9	—	—	—	—
	家庭系可燃ごみについては、セメント工場での資源化処理のほか、古紙、古布、ビン、缶等6分別による安定的な収集、運搬、処理、資源化を行いました。					
	03 し尿の適正な処理					
	指標名	合併処理浄化槽の設置割合(再掲)				
	単位	%	現状値 (R元年度)	72.6	目標値 (R7年度)	75.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	74.1	—	—	—	—
	達成率	98.8	—	—	—	—
	入間西部衛生組合の管理費を負担し、し尿や浄化槽汚泥の収集運搬及び処理を適切に行いました。単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促し、公共水域の保全を図ることができました。転換率は、令和2年3月末より県下1位を維持しています。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					

事務事業評価

施策の展開	01 ごみの減量と再資源化の推進		
施策の展開概要	① 家庭ごみや事業所から排出される一般廃棄物を減らすための取組を推進します。 ② 循環型社会構築のため、不要物をごみとして処理するのではなく、3Rを推進し、限りある資源の有効活用を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
ごみ減量化再資源化推進事業	A	集団資源回収実施団体に対して、適正に報償金を交付しました。生ごみ処理容器等設置補助制度の活用について、市ホームページ等で周知しました。	家庭系可燃ごみの量は前年度と比較すると、一人当たり年間3.8kgの減少となりましたが、引き続き啓発活動等を行っていく必要があります。
環境課			
11,382			
77			

事務事業評価

施策の展開	02 ごみの適正な処理		
施策の展開概要	① 衛生的な生活環境を確保するため、市内で排出されるごみ（一般廃棄物）の継続的、安定的な収集・処理体制を確立します。 ② 循環型社会構築のため、限りある資源の有効活用を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 （良かった点、成果を上げた点など）	改善すべき事項 （問題点、課題点、解決策など）
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
環境美化推進事業	A	地域の清掃活動を行うことにより、ごみを捨てにくい環境づくりができました。また、不法投棄等については、各関連機関とも連携を図り対応しました。	今後も継続して不法投棄防止パトロールや不法投棄物の早期撤去に努めていく必要があります。
環境課			
8,210			
77			
清掃総務事務	A	各種協議会に参加し、職員の知識向上を図ることができました。また、福井県敦賀市と協議し、民間最終処分場代執行の費用についても、排出量に応じた負担をしました。	職員の知識向上のための研修会などへの参加については、各職員に必要な研修を受講することで、人材育成を進めていく必要があります。
環境課			
64			
78			
塵芥処理事務	A	粗大、金属ごみを適切に受け入れることができました。	施設については、稼動を停止後約19年が経過し、老朽化による安全性の面から、今後の計画を明確する必要があります。
環境課			
701			
79			
一般廃棄物収集運搬処理事業	A	ごみ処理体制を確保するとともに、ごみの収集、運搬及び処理についても円滑に実施することができました。	安定的、かつ継続的にごみ収集、運搬及び処理を確保していく必要があります。
環境課			
835,374			
79			
一般廃棄物最終処分場維持管理事業	A	一般廃棄物最終処分場について、事故やトラブル等もなく、円滑に運営することができました。	一般廃棄物最終処分場については、施設の老朽化が進んでいることから、適切な管理のため定期的に修繕をする必要があります。
環境課			
13,699			
80			
ごみ資源化処理施設周辺整備事業	A	一般廃棄物の資源化処理実施に伴うごみ資源化処理施設の周辺環境整備を進めることができました。	排水整備は、中長期的・計画的に実施し、費用対効果を考慮しながら実施する必要があります。
環境課			
4,457			
80			
一般廃棄物処理業等許可事務	A	廃棄物の処理及び清掃に関する法律や日高市廃棄物の処理及び清掃に関する条例に基づき、適正に許可事務を遂行しました。	一般廃棄物処理業等の許可事務について、申請書類の記載事項や添付書類等について、分かりやすい内容にできるように工夫します。
環境課			
0			
—			
清掃センター解体及び新施設整備事業	A	施設の一部である煙突の点検を実施したところ、現状危険な状態ではないということが確認できました。	清掃センター焼却施設については、稼動を停止してから約19年が経過し、施設の老朽化による安全性の面から、取壊しなど今後の計画を明確にしていく必要があります。
環境課			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	03 し尿の適正な処理		
施策の展開概要	① 衛生的な生活環境を確保するため、入間西部衛生組合及びし尿収集運搬事業者と連携し、し尿を適正に処理します。 ② し尿処理施設の効率的な運営を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
入間西部衛生組合事務	A	入間西部衛生組合において、日高市及び入間市のし尿及び浄化槽汚泥の収集、運搬及び処理に関する事務を共同処理しました。	当該施設の運営については、長期的、計画的に運営できるよう、入間西部衛生組合及び入間市と調整していくことが必要となります。
環境課			
61,080			
81			
し尿収集運搬手数料軽減事業	A	し尿の収集、運搬手数料について、市内の地域差が生じることなく、し尿が収集されました。	くみ取り世帯の減少とともに、交付金の適正金額等について配慮していく、必要があります。
環境課			
1,409			
81			

施策評価

基本方針	05 魅力にあふれ活気に満ちたまちをつくる					
施策	19 農林業					
施策目標	農地及び山林の有効活用を図り、魅力ある農産物の生産力を高め、農林業の振興に取り組みます。					
評価指標	指標名	農林業の取組に対する満足度				
	単位	点(5点満点)	現状値 (R元年度)	2.83	目標値 (R7年度)	3.00
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	3.08	—	—	—	—
	達成率	102.7	—	—	—	—
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
施策コスト ※単位＝千円	予算	51,732	—	—	—	—
	実績	46,862	—	—	—	—
	【施策評価】評価責任者	市民生活部長				
施策目標・評価指標に対する令和3年度の主な成果と課題	新規就農者、認定農業者及び農業参入を希望している企業に対して、農業技術や農業機械の導入等の支援や農地利用の調整を行いました。農業後継者対策協議会を通じて農業啓発体験（学校農園事業）を市内全小中学校で実施し、農業への理解を深めることができました。					
各施策の展開に対する令和3年度の主な成果と課題	01 農業の振興					
	指標名	遊休農地面積				
	単位	ha	現状値 (R元年度)	60	目標値 (R7年度)	40
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	70	—	—	—	—
	達成率	△50.0	—	—	—	—
	農業者及び農業参入を希望している企業に対して、利用調整を行い、農地の有効活用を図りました。しかしながら、利用に係る調整等に期間を要する事象も発生しており、手続きの方法等について検討が必要です。					
	02 魅力ある農産物の生産支援					
	指標名	認定新規就農者数				
	単位	人	現状値 (R元年度)	2	目標値 (R7年度)	10
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	9	—	—	—	—
	達成率	90.0	—	—	—	—
	新規就農者の認定、認定農業者への研修や農業制度資金等の情報提供を行いました。特産品の販売促進支援として、ブルーベリー、栗、ウドのレシピ集を配布しました。					
	03 林業の振興					
	指標名	森林間伐面積				
	単位	ha	現状値 (R元年度)	97	目標値 (R7年度)	110
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	100.5	—	—	—	—
	達成率	91.4	—	—	—	—
	森林環境譲与税の使途に関する施策を明確にし、適切に活用するため「森林環境譲与税の活用に向けた基本方針」を策定しました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
単位						
実績値						
達成率						

事務事業評価

施策の展開	01 農業の振興		
施策の展開概要	① 遊休農地の解消を促進し、農地の有効活用を図ります。 ② 鳥獣被害対策の更なる充実を図ります。 ③ 担い手の育成・確保を推進します。 ④ 県と連携し、6次産業の推進を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
農業委員会運営事務	A	農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の協力により、総会の運営、広報活動等について、適正に行うことができました。	農地所有者等に対し、農地法や関係法令に関する理解を深めるよう説明していく必要があります。現地調査の際に農業者と意見交換を行い状況把握に努める必要があります。
農業委員会事務局			
9,555			
258			
農業総務事務	A	農業者への支援として、埼玉県農業共済組合へ負担金の支出をすることで、災害の備えを行いました。	災害に備え、農業者への支援を継続的に実施していく必要があります。
産業振興課			
903			
85			
遊休農地活用促進事業	A	農業者や農業参入を希望する企業に対して、利用調整を行いました。新規に合計44筆5.6haの利用集積を行い、農地の有効活用を図りました。	農地の集積において、利用に係る調整等に期間を要する場合があるため、農地中間管理事業を活用するなど、手続きの方法について検討が必要です。
産業振興課			
104			
86			
担い手農家育成事業	A	効率的かつ安定的な経営体を目指す農業者に対し、利子補給を行い、農業者の経営安定を図ることができました。	認定農業者等の経営に対する支援の方法について、検討していく必要があります。
産業振興課			
11			
86			
農業後継者対策事業	A	児童及び生徒が農業を体験する学校農園を実施し、農業後継者の育成が図れました。次世代の人材を確保するため、新規就農者6名に対し資金支援を行いました。	農業後継者の育成及び確保を図るため、更なる支援策を検討していく必要があります。
産業振興課			
8,382			
87			
農業振興地域整備計画事務	A	農業振興地域整備計画により、適切な農地の保全を図ることができました。農業振興地域整備計画の変更のため、埼玉県と事前協議を行いました。	農業振興地域整備計画書における農用地地域について、地域の実情を踏まえながら、農業振興に支障のないよう適切に変更していくことが必要となります。
産業振興課			
166			
87			
農村集落施設維持管理事業	A	農業者の生産活動及び福利活動に寄与しました。	農村研修センターについて、日高市公共施設再編計画に基づいた運用をしていく必要があります。また農村広場の管理方法及び在り方について検討していく必要があります。
産業振興課			
2,354			
88			
有害鳥獣駆除対策事業	A	市民からの被害報告があった際、速やかに現地確認を行い、猟友会会員に伝達することができました。	猟友会会員の高齢化が課題となっていることから、猟友会の活動や資格取得方法について、積極的に宣伝広報活動を行い、会員を増やしていく必要があります。
産業振興課			
747			
88			

家畜防疫事務	A	日高市畜産協会と連携し、家畜伝染病予防及び公害対策に努めることができました。	畜産農家数及び保有家畜数が減少していますが、畜産経営の安定と安全な食品を供給するため、引き続き支援していく必要があります。
産業振興課			
215			
91			
土地改良事務	A	入間第二用水土地改良区との負担協定に基づき、水路改修及び修繕を実施しました。また防災重点農業用ため池の仙女ヶ池について耐震診断と劣化状況調査を実施しました。	防災重点農業用ため池及び農業用ため池について、安全管理を行うとともに、計画的に維持管理を実施していく必要があります。
産業振興課			
10,703			
92			
遊休農地解消事業	A	農地の各種調査の結果を受けて、農業経営の拡大を図る農業者に対し、効率良くあつ旋を行うことができました。	農業委員会委員、農地利用最適化推進委員と連携し、所有者の意向について把握するなど、利用調整に努めていきます。
農業委員会事務局			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	02 魅力ある農産物の生産支援		
施策の展開概要	① 付加価値のある農産物の生産を支援するとともに、消費者に農産物を安定的に供給するための安心で安全な農業を推進します。 ② 農協と連携し特産品のPRに努めます。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
特産品創出事業	A	特産品の宣伝広告活動のため、市庁舎敷地内において市役所マルシェ2021を開催しました。特産品のチラシを作成し、ふるさと納税のお礼状に同封しました。	生産量を増やすためのシステムを充実させ、生産者の収益増に向けた販路の拡大について、検討していく必要があります。
産業振興課			
174			
89			
農業者経営安定対策事業	A	経営所得安定対策交付金等の制度周知を行い、農業経営の支援を行いました。	農業経営の安定を図るため、制度の推進と継続的に支援を行っていく必要があります。
産業振興課			
1,240			
89			
ひだか花いっぱい事業	A	1年を通じて市内の「埼玉県指定診療・検査医療機関」にて花きの展示を行い、3月には、市役所ロビーを花いっぱいにして癒しの空間を提供しました。	新型コロナウイルスの影響で需要が減少している花きについて、生産者の支援と消費拡大へのPRができました。
産業振興課			
2,438			
90			

事務事業評価

施策の展開	03 林業の振興		
施策の展開概要	① 関係団体と連携し、林業の振興と森林の整備に努めます。 ② 間伐等の実施により山林の適切な管理と保全を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
緑の募金管理運用事務	A	自治会を通じて実施したことで、緑化事業への理解を得ることができました。また、募金総額の約半額を緑の基金へ積み立てることができました。	自治会の協力が不可欠であることから、家庭募金に関する理解を更に得られるよう、使途を明確にするとともに、より丁寧な説明をしていく必要があります。
産業振興課			
1,070			
93			
林業振興事業	A	森林環境譲与税の使途に関する施策を明確にし適切に運用をしていくため、基本方針を策定しました。関係機関に対し森林整備に関するアンケート調査を実施しました。	森林環境譲与税の活用に向けた基本方針に基づき、各施策を適切に実施していく必要があります。森林経営計画の内容等について、検討していく必要があります。
産業振興課			
8,800			
94			

施策評価

基本方針	05 魅力にあふれ活気に満ちたまちをつくる					
施策	20 商工業					
施策目標	市内事業者や、市内での創業を支援するとともに、事業者と連携して地域経済の安定的成長と持続的発展を目指します。					
評価指標	指標名	住んでいる地域に活気があると感じている人の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	15.4	目標値（R7年度）	20.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	21.0	—	—	—	—
	達成率	105.0	—	—	—	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	147,150	—	—	—	—
	実績	124,189	—	—	—	—
【施策評価】評価責任者	市民生活部長					
施策目標・評価指標に対する令和3年度の主な成果と課題	平成30年から創業塾を開催し若者や女性、アクティブシニアまで幅広い年齢層の人が受講されました。今までの受講者から8人が創業され、市内で事業活動を展開されています。新型コロナウイルス感染症に関する各種支援ガイドブック（事業者向け）を適宜更新し周知しました。					
各施策の展開に対する令和3年度の主な成果と課題	01 企業への支援					
	指標名	市内事業所売上額				
	単位	百万円	現状値（H27年度）	85,103	目標値（R7年度）	87,600
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	—	—	—	—	—
	達成率	—	—	—	—	—
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、市内小規模事業者等への給付を緊急に実施しました。市商工会へ補助を行い、商工業振興のため経営指導員による巡回指導や専門指導員による経営改善普及事業等を支援しました。					
	02 商工振興活動の支援					
	指標名	市内事業所従業者数				
	単位	人	現状値（H28年度）	23,155	目標値（R7年度）	24,300
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	—	—	—	—	—
	達成率	—	—	—	—	—
	新型コロナウイルス感染症への対応として、彩の国安心宣言飲食店、認証店であることを周知するのぼり旗やステッカーを配布しました。二酸化炭素測定器を配布し、感染防止対策を支援しました。					
	03 労働環境の改善と就労支援					
	指標名	完全失業率				
	単位	%	現状値（H28年度）	5.4	目標値（R7年度）	4.8
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	—	—	—	—	—
	達成率	—	—	—	—	—
	就労を支援するため、ハローワーク求人情報を市ホームページ等を通じて周知しました。就業率のうち、女性の就業率（30歳～39歳）は69.7%であり、埼玉県平均の62.8%を上回っており、男女共同参画社会の一助となるとともに、市内事業者の活性化につなげることができました。					
	04 多様な働き方のできる環境の実現					
	指標名	民営事業所数				
	単位	件	現状値（H28年度）	1,872	目標値（R7年度）	1,928
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	—	—	—	—	—
	達成率	—	—	—	—	—
	県主催の地域の未来を考える政策プロジェクトにおいて、「西部地域の観光資源を活用した新たな生活様式や働き方を定着させる仕組みの構築」をテーマに先進事例等の調査研究に努めました。また、令和4年度に県モデル事業として西部地域におけるワーケーション促進事業が実施されることになりました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					

事務事業評価

施策の展開	01 企業への支援		
施策の展開概要	① 地域の産業を活性化するため、農業・工業・商業のバランスの取れた産業の振興を支援します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
中小企業事業資金融資事務	A	令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の状況により、増加傾向であった認定申請の件数が減少しました。	資金を必要とする市内中小企業者にとって有利となり、利用しやすい制度となるよう、利子補給の方法などの見直しについて検討する必要があります。
産業振興課			
5,031			
95			
小規模企業振興事業	A	創業を目指している方、創業されて間もない方、後継者の方など、創業に関心のある方を対象に、全5回の創業塾を開催しました。	今後、審議会を開催し、関係者等からの意見を伺いながら、効果的な事業を計画し取り組む必要があります。
産業振興課			
240			
95			
小規模事業者等支援事業	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上等が減少した事業者を支援することができました。	受付件数が多いことから、迅速な対応方法や電子申請等について検討が必要です。
産業振興課			
93,315			
97			
事業所感染症対策支援事業	A	市内事業所に彩の国安心宣言飲食店＋認証店であることをPRするのぼり旗やステッカー、二酸化炭素濃度測定器を配布し、感染症対策を支援することができました。	今後、感染症対策に関する備品等の配布について、周知方法や配布方法を検討する必要があります。
産業振興課			
13,204			
96			
観光事業者臨時支援事業	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行者の減少等大きな影響を受けている旅行事業者に対し、事業継続のための支援金を交付することができました。	適切に支援金を交付しました。
産業振興課			
1,800			
96			
電気工事業の登録事務	A	日高市で受付を行うことにより、市内業者の利便性を向上することができました。	受付件数が多くないことから、ノウハウの蓄積が課題となります。
産業振興課			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	02 商工振興活動の支援		
施策の展開概要	① 商工業事業者の経営の安定化を図り、地域経済を活性化するため、商工業事業者等を支援します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
商工振興活動団体支援事務	A	市内商工業者の活性化には商工会の活動が必要不可欠です。補助金を交付することにより、商工会事業の実施を支援することができました。	商工会との連携について、イベント等を通じ、関わる必要があります。新型コロナウイルス感染症の影響により、停滞している経済活動への継続した支援の検討が必要です。
産業振興課			
10,500			
97			

事務事業評価

施策の展開	03 労働環境の改善と就労支援		
施策の展開概要	① 労働トラブル等の解決を支援します。 ② 関係機関と連携し、就労・就業を支援します。 ③ 就業の場創出のための施策を行います。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
労働相談事業	A	随時相談ができる体制を整え、相談の機会を速やかに提供することができました。社会保険労務士の資格を持った相談員が助言等を行い、労働環境の向上を図りました。	労働相談の制度が広く認知されるよう、周知を拡大する必要があります。また、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した相談体制の検討が必要です。
産業振興課			
99			
84			
就労支援事業	A	相談者の希望に適した事業所をあっ旋することができました。	内職の受け入れ事業所数が停滞傾向であることから、更なる事業所の増加に努めます。また、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した相談方法の検討が必要です。
産業振興課			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	04 多様な働き方のできる環境の実現		
施策の展開概要	① 都心から約1時間で往来でき、災害に比較的強い地域であるという利点を活用した多様な働き方のできる環境を実現します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
働き方環境等調査研究事務	A	県主催の地域の未来を考える政策プロジェクト会議に参加し、自治体、民間事業の先進事例等の調査研究に努めました。	サテライトオフィスやワーケーション等の多様な働き方の調査研究及び市場調査方法の検討を行う必要があります。
政策秘書課			
0			
—			

施策評価

基本方針	05 魅力にあふれ活気に満ちたまちをつくる					
施策	21 観光					
施策目標	本市の財産である自然や歴史を生かし、観光地としての魅力を高めます。					
評価指標	指標名	住んでいる地域に観光などでの訪問客が増えていると感じている人の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	29.9	目標値（R7年度）	30.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	22.0	—	—	—	—
	達成率	73.3	—	—	—	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	63,243	—	—	—	—
	実績	55,603	—	—	—	—
【施策評価】	評価責任者	市民生活部長				
施策目標・評価指標に対する令和3年度の主な成果と課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言や外出自粛の要請から集客のためのイベントやPR活動等、観光キャンペーンの大半を実施することができませんでした。その一方で、市ホームページやSNSを活用し「遠足の聖地ひだか」の認知度の向上を図ることができました。					
各施策の展開に対する令和3年度の主な成果と課題	01 自然と歴史を生かした観光地整備の推進					
	指標名	観光入込客数				
	単位	千人／年	現状値（R元年度）	3,963	目標値（R7年度）	4,069
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	2,841	—	—	—	—
	達成率	69.8	—	—	—	—
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言や外出自粛要請の影響を受け、入込客数は減少しました。					
	02 広域で連携した観光の推進					
	指標名	巾着田年間来場者数				
	単位	人／年	現状値（R元年度）	639,624	目標値（R7年度）	658,800
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	246,372	—	—	—	—
	達成率	37.4	—	—	—	—
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言や外出自粛の要請を受け、巾着田河原における宿泊を伴うキャンプとバーベキューの自粛を要請しました。巾着田春まつり及び曼珠沙華まつりを中止しました。					
	03 観光誘客の推進					
	指標名	観光協会ホームページ閲覧数				
	単位	件	現状値（R元年度）	203,785	目標値（R7年度）	210,000
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	22,375	—	—	—	—
	達成率	10.7	—	—	—	—
	新型コロナウイルス感染症に対応するため、三密を避けながら観光地を楽しむことができる「遠足の聖地スタンプラリー」を実施し観光客誘客に努めました。巾着田曼珠沙華まつりが中止となったことから、観光協会ホームページへのアクセス数は減少しました。					
	04 魅力を活用した体験型観光の推進					
	指標名	体験型観光メニュー件数				
	単位	件	現状値（R元年度）	0	目標値（R7年度）	20
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	0	—	—	—	—
	達成率	0.0	—	—	—	—
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、体験型の観光事業の実施を中止しました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					

事務事業評価

施策の展開	01 自然と歴史を生かした観光地整備の推進		
施策の展開概要	① 豊かな自然と歴史的財産を生かし市への来訪者をおもてなしするため、特色ある観光地整備を推進します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
高麗郷古民家等利活用事業	A	高麗郷古民家サポーターズクラブの協力により、歳時記関連の展示を行いました。集客してのイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。	歳時記に合わせたイベントを引き続き実施し、地域の伝統・文化の継承に努める必要があります。今後のイベントの開催方法や施設の活用について検討が必要です。
産業振興課			
7,009			
98			
観光地美化事業	A	観光地の美化活動を近隣ボランティア団体等に委託することにより、ハイキングコースや河原等を綺麗な状態に保つことができました。	美化清掃活動を委託している団体や個人の高齢化により、活動の継続が困難になる場合があります。今後、後継者を育成していく必要があります。
産業振興課			
5,689			
98			
市民釣り堀維持管理事業	B	市民の憩いの場である市民釣り堀の管理を近隣に住む市民に委託することで、魚の保護や釣り堀内の除草を実施することができました。	施設の老朽化による破損箇所があるため、今後の施設の在り方について検討する必要があります。
産業振興課			
321			
99			

事務事業評価

施策の展開	02 広域で連携した観光の推進		
施策の展開概要	① 地域的な結びつきを活用し、観光地としての魅力を高めるため、広域で連携した観光振興を推進します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
観光振興活動団体支援事業	A	本市の特色を生かした事業を行い、観光客の誘客ができるよう日高市観光協会に補助金を交付しました。	観光協会をより充実した組織とするため、歳入確保、人員確保及び育成が必要です。
産業振興課			
600			
100			

事務事業評価

施策の展開	03 観光誘客の推進		
施策の展開概要	① 多くの観光客を誘致し、観光地のにぎわいを創出するため、市の魅力発信を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
マスコットキャラクター活用事業	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集客イベントの多くが中止となり、着ぐるみによるPRの機会が減少しました。	新型コロナウイルス感染症の影響により、着ぐるみ貸出回数が減少しているため、貸出回数が増加するようホームページ等で貸出利用についてPRしていく必要があります。
産業振興課			
0			
100			
巾着田維持管理事業	A	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う河原の利用制限を行い、集客イベントは中止しました。四季を楽しめるよう維持管理することで、年間を通じて観光客で賑わいました。	巾着田の魅力である昔ながらの田園風景を維持していくため、どのような対策を実施していくか検討が必要です。
産業振興課			
31,780			
101			
遠足の聖地プロジェクト事業	A	市のホームページやSNSを用いて「遠足の聖地ひだか」の認知度の向上を図ることができました。また、遠足の聖地スタンプラリーを実施しました。	新型コロナウイルス感染症対策に配慮した事業のPRが必要です。
産業振興課			
10,086			
101			
日高市民まつり開催事業	A	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事業を中止したことにより、補助金を交付しませんでした。	今後の日高市民まつりの開催に向け、新型コロナウイルス感染症の感染対策や開催方法等について検討する必要があります。
産業振興課			
0			
—			
ロケーションサービス事業	B	巾着田や高麗郷古民家等、市内の観光資源を撮影に使用してもらうことにより、放送等を通じて市の魅力を発信することができました。	現在、撮影希望業者からの相談があった際に対応している状況です。今後、更にサービスを利用していただくための広報手段について研究していく必要があります。
産業振興課			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	04 魅力を活用した体験型観光の推進		
施策の展開概要	① 本市の魅力を生かしたエコツーリズムなどの体験型の観光を推進することで、本市を訪れるひとの流れをつくります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
観光活性化事業	A	集客してのイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。	観光協会との連携を深め、更なる通年観光を推進していく必要があります。新型コロナウイルス感染症対策を講じたイベントの実施方法等について検討が必要です。
産業振興課			
118			
99			

施策評価

基本方針	06 生涯にわたり生きがいを持って学べるまちをつくる					
施策	22 生涯学習・社会教育					
施策目標	誰もが生涯にわたって、自分を磨き、能力や経験を最大限に発揮し、地域や社会に生かすことで心豊かな人生を送れるよう、市民の生涯学習を支援します。また、健康で明るく、活力ある市民生活を送れるようスポーツ・レクリエーション活動を支援します。					
評価指標	指標名	生涯学習活動に参加している人の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	11.3	目標値（R7年度）	12.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	9.3	—	—	—	—
	達成率	77.5	—	—	—	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	1,012,064	—	—	—	—
	実績	338,451	—	—	—	—
【施策評価】評価責任者	教育部長					
施策目標・評価指標に対する令和3年度の主な成果と課題	コロナ禍ということで、誰もが積極的な生涯学習活動に取り組む状況にはありませんでした。また、生涯学習の一環として取り組んでいる様々な社会貢献活動も一時停止してしまいました。無いこと、あるいはやらないことが当たり前の日常からコロナ感染拡大前の状況に戻すことが何より大切です。そのためには、行政として様々なきっかけを提供するとともに市民の活動を支援していく必要があります。					
各施策の展開に対する令和3年度の主な成果と課題	01 生涯学習の推進					
	指標名	出前講座受講人数				
	単位	人	現状値（R元年度）	1,509	目標値（R7年度）	1,728
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	633	—	—	—	—
	達成率	36.6	—	—	—	—
	新型コロナウイルス感染症の影響からサークルなどの活動の場である公民館の利用制限があったり、利用者及び指導者も皆で集まって学習するという状況ではありませんでした。出前講座の利用者も大幅に減少しました。そのような中でも美術展や文化祭など、感染症対策を万全にし開催することができました。					
	02 公民館の充実					
	指標名	新規サークル数				
	単位	団体	現状値（R元年度）	0	目標値（R7年度）	30
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	6	—	—	—	—
	達成率	20.0	—	—	—	—
	新型コロナウイルス感染症の影響からサークルなどの活動の場である公民館の利用制限があったり、利用者及び指導者も皆で集うという状況ではありませんでした。そのような中でも新たに6つのサークル登録がありました。また、使用料等の見直しに関する説明会を開催し、利用者の理解を得ました。					
	03 スポーツ・レクリエーションの振興					
	指標名	ひだかアリーナ利用人数				
	単位	人	現状値（R元年度）	155,130	目標値（R7年度）	168,472
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	97,707	—	—	—	—
	達成率	58.0	—	—	—	—
	新型コロナウイルス感染症の影響からサークルなどの活動の場であるアリーナなどの利用制限があったり、利用者及び指導者も皆で集まってスポーツをするという状況ではありませんでした。ツデーウオークについては、一昨年同様にチャレンジウオークとして大幅に縮小して実施しました。					
	04 読書に親しめる環境の整備					
	指標名	市民1人当たりの貸出冊数				
	単位	冊	現状値（R元年度）	4.9	目標値（R7年度）	6.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	5.3	—	—	—	—
	達成率	88.3	—	—	—	—
	読書に親しむ人を増やすために移動図書館の貸出場所を2か所増やしましたが、新たな利用者の獲得には至りませんでした。コロナ禍でもビブリオバトルや市民ボランティアとの協働による各種企画を縮小しながら開催することができました。図書館利用者はコロナ感染拡大前の状況に戻りつつあります。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					

事務事業評価

施策の展開	01 生涯学習の推進		
施策の展開概要	① 市民の誰もが生涯にわたって学ぶことのできるよう、社会の変化に対応した講演会や諸集会等の学習の機会を提供します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
生涯学習推進事務			
生涯学習課	B	社会教育主事講習、入間地区社会教育協議会での調査研究や社会教育委員自主研修会により、職員等の資質向上に努めました。	社会教育職員の専門的知識を養うため、専門研修への派遣に努めます。
1,649			
228			
日高ライブラリーカレッジ開催事業			
生涯学習課	B	新型コロナウイルス感染拡大により中止となりましたが、次年度の開催方法等について検討しました。	委員の固定化、高齢化となっているため、新たなスタッフの参画が必要です。
93			
229			
人づくり支援事業	A	市民の学習ニーズを捉えた出前講座を実施しました。	出前講座の講師をはじめとする人づくりを継続していく必要があります。
生涯学習課			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	02 公民館の充実		
施策の展開概要	① 市民の生涯学習活動を支援するため、身近な公民館で各種講座等を実施し、学習の機会を増やします。 ② 公共施設再編計画に基づき、施設の老朽化対策として、計画的かつ適正な整備を行います。 ③ 公民館と出張所を併設した新たな高萩公民館を建設し、地域の活動拠点とします。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
公民館維持管理事業（教育総務課）	A	老朽化した箇所を修繕し、適切に維持管理を行ったことにより、施設が要因となった負傷事故もなく、安心・安全に施設を利用していただくことができました。	施設の老朽化に伴う改修については計画的に行っていく必要があります。
教育総務課			
19,567			
206			
新高萩公民館建設事業（教育総務課）	A	建設工事に着手しました。	令和4年度に完了できるよう、計画的に工事を進める必要があります。
教育総務課			
5,074			
206			
公民館維持管理事業（生涯学習課）	A	新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、公民館の管理運営に努めました。	既存のサークル構成員の高齢化により、サークル数が減少傾向にあります。今後、新規サークルの立ち上げを支援していきます。
生涯学習課			
24,233			
230			
高麗川公民館維持管理事業	A	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努めました。また、館内外の美化、整理整頓、危険箇所のチェックを行い、安心・安全な施設管理に努めました。	公民館の老朽化・備品の破損・劣化が進んでおり、安心・安全を優先に、計画的な修繕や交換を行っていきます。
生涯学習課			
491			
230			
高麗公民館維持管理事業	A	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努めました。また、館内外の美化、整理整頓、危険箇所のチェックを行い、安心・安全な施設管理に努めました。	施設の老朽化、備品類の破損、劣化が進んでおり、事故を未然に防止するため、今後も施設の安全管理に努めていきます。
生涯学習課			
559			
231			
高萩公民館維持管理事業	A	企画運営委員や高萩南地区スポーツ協会、公民館登録サークル、地域の多くの皆様との協働により公民館運営と事業の推進が図られました。	新公民館移転までの間、設備等の修繕が不要となるよう、より適切な維持管理をすることが必要となります。
生涯学習課			
335			
231			
高麗川南公民館維持管理事業	A	施設管理については、日頃から予防点検に努め、備品の修理等職員ができることは適切に対応しました。また、適切な施設管理運営に努めました。	施設の老朽化が進んでいるため、できる所から修繕していきます。
生涯学習課			
754			
232			

高萩北公民館維持管理事業	A	敷地内除草や年末大掃除など利用者との協働で実施したほか、空調の設定温度を管理したり、白熱電球をLEDに交換するなどして適切な管理運営を行いました。	施設の老朽化や利用者の高齢化が長期的な課題です。利用者の安全・安心のための修繕や計画的な改修が必要です。
生涯学習課			
427			
232			
武蔵台公民館維持管理事業	A	企画運営委員会議において、様々な意見や提案が出され、それらを反映した有意義な公民館事業を実施することができました。	老朽化により、備品や施設の劣化、破損等が後を絶たないため、施設全体の修繕・改修等を積極的に行っていく必要があります。
生涯学習課			
623			
233			
公民館青少年教育事業	A	子どもたちが様々な体験をすることにより、創造力や行動力を養うとともに、仲間づくりや大人との世代間交流を図ることができました。	新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、事業を実施していきます。
生涯学習課			
166			
233			
公民館成人教育事業	A	新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら事業を企画し実施しました。また、新しいテーマの講座を実施し新規の参加者が増加しました。	若い世代に参加してもらえるような講座を開催していく必要があります。
生涯学習課			
208			
234			
公民館高齢者教育事業	A	高齢者のニーズに応じた内容を実施し、多くの高齢者の生きがいや健康づくりの一助となりました。	コロナ禍で参加者が固定化してきている部分があります。新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、更なる参加者の拡大が必要となります。
生涯学習課			
88			
234			
公民館家庭教育事業	A	乳幼児を持つ親同士の情報交換や地域の人たちとの交流を通じ、子育てに関する不安解消や仲間づくりの機会の提供ができました。	新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、事業を実施していきます。
生涯学習課			
270			
235			
公民館体育祭開催事業	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりましたが、「中止」と決定するまでのプロセスから「地域の問題を地域で考える」ことの実践に寄与しました。	新型コロナウイルスの感染拡大状況等を見極めて、十分な対策を講じての開催ができないか検討する必要があります。
生涯学習課			
0			
—			
公民館文化祭開催事業	A	新型コロナウイルス感染拡大防止を講じながら全ての公民館で文化祭を開催でき、地域住民の学習成果の発表の場、地域交流の場として成果を上げました。	参加者の高齢化に伴いパネルやテントの設営が負担になっています。また、文化祭の運営方法の検討が必要です。
生涯学習課			
156			
235			
公民館健康維持事業	A	新型コロナウイルス感染防止対策を工夫しながら、住民の健康意識や体力向上を図ることができました。	安全・安心な講座とするために、新型コロナウイルス感染防止対策の継続が必要となります。
生涯学習課			
335			
236			
新高萩公民館建設事業（生涯学習課）	A	建設工事の進捗状況等をホームページや高萩公民館の公民館だよりで周知しました。	建設工事の進捗状況等の周知を継続するとともに、オープンに向け準備を進める必要があります。
生涯学習課			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	03 スポーツ・レクリエーションの振興		
施策の展開概要	① 市民の健康・体力づくりを推進するため、社会体育施設の利用を促進します。 ② 市民がスポーツに親しみ、楽しむことができるようにするため、各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
学校体育施設開放事業	A	多くの市民が利用しており、スポーツの振興が図られています。特に若い世代の利用が見受けられ、昼間時間の取れない方の利用に役立っています。	学校、指定管理者、利用者と連携を取り、事業が適正に実施できるよう努めます。
生涯学習課			
147			
242			
スポーツ推進事務	A	団体の財政面を支援することで、各団体主体のスポーツ活動を奨励することができました。	各団体が主体となって組織運営できるよう、検討が必要です。
生涯学習課			
4,078			
242			
スポーツ教室・大会開催事業	A	新型コロナウイルス感染症の中でも、ラケットテニス大会及び四半的弓道大会の開催ができました。	市民がどのようなスポーツ大会を望んでいるのか、ニーズの把握に努めることが必要です。
生涯学習課			
283			
243			
北平沢運動場維持管理事業	A	地元をはじめ、多くの市民が気軽に運動ができるグラウンドとして利用されました。また、健康遊具等を整備することで、市民の健康づくりをサポートできました。	川沿いの立地ということもあり、本来の使用目的とは違う形で利用される方が増えてしまっています。
生涯学習課			
4,047			
244			
市民プール維持管理事業	A	高麗川小・中学校の教諭と意見交換を行い、安全に授業ができ、快適に市民が利用できるよう改修工事を実施しました。	安全に授業ができるよう、各学校と連携していく必要があります。
生涯学習課			
90,130			
244			
文化体育館維持管理事業	A	スポーツ、レクリエーション及び文化の拠点となる日高市文化体育館「ひだかアリーナ」を常に安心、安全な施設として提供し、快適に利用してもらうことができました。	計画的な修繕や更新等のメンテナンスを行っていきます。また、施設の予約方法等、更なる利便性の向上を検討していく必要があります。
生涯学習課			
92,908			
245			
横手台グラウンド維持管理事業	A	多くの市民が気軽に運動ができるグラウンドとして利用されました。特に朝晩はジョギングや散歩を楽しむ市民の姿が多く見受けられました。	住宅街に隣接しているグラウンドであるため、騒音等で近隣住民の安心安全な生活を阻害しないよう、利用される際のルールを確立していく必要があります。
生涯学習課			
8,482			
245			

事務事業評価

施策の展開	04 読書に親しめる環境の整備		
施策の展開概要	① 様々な行事を図書館ボランティアとの協働で実施するため、ボランティアを養成します。 ② 図書館を利用したことがない人に利用していただくため、催事事業を推進するとともに図書館の魅力のPRに努めます。 ③ 図書館から離れた場所での貸出・返却を可能とするため、公民館への予約本の配送・返却や移動図書館車による貸出・返却を増やします。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
読書推進事業	A	一般、児童向け各種行事の開催をはじめ、YA（ヤングアダルト）世代（中学生から大学生位）向け展示やYA通信の発行等を行い、幅広い世代の読書啓発に努めました。	YA（ヤングアダルト）世代の図書館利用につなげるために、学校との連携によるおはなし会等の事業を推進していく必要があります。
生涯学習課			
750			
237			
図書館運営事務	A	利用の多いシニア層向け資料のほか、YA（ヤングアダルト）世代（中学生から大学生位）向け資料や児童書等の資料も収集して、市民のニーズに合った選書に努めました。	一部業務の委託化に伴い、利用者の満足度が上がるよう、定期的に受託者との打合せを行い、委託業務の有効な効果が得られるように円滑に運営を行う必要があります。
生涯学習課			
82,598			
237			

施策評価

基本方針	06 生涯にわたり生きがいを持って学べるまちをつくる					
施策	23 歴史・文化					
施策目標	先人が築き上げてきた郷土の歴史や伝統を次世代に継承し、学びの提供を行うとともに、充実した芸術文化活動の参加機会を提供します。					
評価指標	指標名	自慢したい地域の風景や名所があると感じている人の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	46.4	目標値（R7年度）	48.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	52.9	—	—	—	—
	達成率	110.2	—	—	—	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	10,551	—	—	—	—
	実績	9,980	—	—	—	—
【施策評価】評価責任者	教育部長					
施策目標・評価指標に対する令和3年度の主な成果と課題	先人が築いてきた郷土の歴史や伝統を後世に引き継ぐため、定期的な文化財の保護などを実施しました。また、市民自身が市の魅力である文化財を把握、知るためにも説明板の改修は有効であります。市内には、まだまだ市民の多くの方に知られていない史跡や名勝が多々あることから、引き続き、PR環境を整えていきます。更に、新生活様式により、コロナ禍においても芸術文化活動に参画・学習する機会を設けていきます。					
各施策の展開に対する令和3年度の主な成果と課題	01 文化財の保護と活用					
	指標名	文化財説明板の設置率				
	単位	%	現状値（R元年度）	53.8	目標値（R7年度）	70.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	57.6	—	—	—	—
	達成率	82.3	—	—	—	—
	指定文化財「台の高札場」の説明版をリニューアルするとともに屋根を修繕しました。また、「日高の名勝（仮称）」の資料調査を文化財保護審議委員会にて実施しました。高麗郷民俗資料館において、「洪沢栄一とひだか展」、「平成の発掘調査展」を開催しました。					
	02 芸術・文化の振興					
	指標名	市美術展の出品数				
	単位	点	現状値（R元年度）	161	目標値（R7年度）	180
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	155	—	—	—	—
	達成率	86.1	—	—	—	—
	コロナ禍においても、しっかりとした感染症対策を施し、美術展（ひだかアリーナ）、市民文化祭（高麗の郷等）、子ども俳句（高麗公民館）、新春ファミリーコンサート（ひだかアリーナ）などのイベントを開催することができました。キッズダンスについては開催することができませんでした。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					

事務事業評価

施策の展開	01 文化財の保護と活用		
施策の展開概要	① 文化財を継承するために、調査及び指定による保存を図ります。文化財の継承のため地域社会全体で文化財を保護する枠組みを作ります。 ② 文化財を活用するために、資料の公開、講座の開催や史跡整備による市民、来訪者への学習の場を提供します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
文化財室維持管理事業（教育総務課）	A	適正な維持管理（業務委託）を行うことができました。	施設や設備の改修を行っていく必要があります。
教育総務課			
441			
207			
高麗郷民俗資料館維持管理事業（教育総務課）	A	老朽化した施設ですが特に大きな問題点もなく、適正な維持管理（業務委託）を行うことができました。	今後の公共施設の再編を見据えた維持管理を行う必要があります。
教育総務課			
443			
207			
文化財室維持管理事業（生涯学習課）	A	文化財事務及び文化財資料、埋蔵文化財資料の整理作業が実施できました。また、耐火構造施設のため、寄託されている指定文化財や古文書を安全に保管できました。	文化財の保管スペースが不足し、保管場所が散在しています。今後も収蔵品の増加が見込まれ、収蔵場所を確保する必要があります。
生涯学習課			
405			
238			
高麗郷民俗資料館維持管理事業（生涯学習課）	B	市の歴史を物語る貴重な財産である民俗資料を保存することができ、常設展示及び企画展示を通して市民に公開することができました。	旧公民館施設で、耐震、耐火構造ではないため、他市町村からの資料借用ができず、市民への資料紹介に限界があります。
生涯学習課			
3,061			
238			
指定文化財維持管理事業	A	管理委託契約や文化財補助金を交付することにより、指定文化財の保護、保存、管理を行うことができました。	管理者の高齢化により文化財管理の継続に問題が生じないよう、管理計画を更新する必要があります。
生涯学習課			
888			
239			
文化財保護事業	A	文化財説明板の修繕により市民、来訪者への文化財の周知ができました。市民歴史講座の開催により市民の学びの場を提供し、文化財への理解を得ることができました。	市内に所在する様々な文化財のしっ皆調査が今後も重要になります。
生涯学習課			
615			
239			
埋蔵文化財調査事業	A	記録保存を実施することにより、開発から埋蔵文化財を保護し、地域の歴史を物語る貴重な資料を得ることができました。	整理作業、調査報告書の刊行が滞っており、調査体制の充実を図り、資料を市民へ公開する必要があります。増加する出土品の収納場所を確保する必要があります。
生涯学習課			
2,894			
240			
高麗石器時代住居跡遺跡史跡整備事業	B	市民歴史講座により、高麗村石器時代住居跡の時代である縄文時代について理解を深めてもらうことができました。	史跡の追加指定、史跡買い上げに向けた計画を策定する必要があります。
生涯学習課			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	02 芸術・文化の振興		
施策の展開概要	① 市美術展などの開催を通じ、市民に芸術・文化活動の発表の場を提供します。 ② 市民の自主的な芸術・文化活動を支援します。 ③ 新たな芸術・文化団体の設立を支援し、芸術・文化の振興を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
芸術文化振興事業	A	新型コロナウイルス感染症対策を行い、市民文化祭、美術展、子ども俳句展、ファミリーコンサートを開催しました。また、日高市文化団体連合会の設立準備を行いました。	新型コロナウイルス感染防止対策を検討し、新たな開催方法を検討する必要があります。芸術文化の振興を推進するため日高市文化団体連合会の設立及び支援を行います。
生涯学習課			
1,233			
229			

施策評価

基本方針	07 信頼される行政運営を推進するまちをつくる					
施策	24 市民参加・情報共有					
施策目標	市民参加活動や地域コミュニティ活動を活発にするとともに、行政情報の発信や広聴活動の充実により、行政と市民との情報共有を図ります。					
評価指標	指標名	地域活動やボランティアなどで社会のために活動してみたいと感じている人の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	39.9	目標値（R7年度）	43.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	39.7	—	—	—	—
	達成率	92.3	—	—	—	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	103,513	—	—	—	—
	実績	98,812	—	—	—	—
【施策評価】評価責任者	総務部長					
施策目標・評価指標に対する令和3年度の主な成果と課題	市民と行政が協働したまちづくりを進めるため、市民参加条例に基づいた市民参加手続きにより市民が市政に参加するとともに、市社会福祉協議会のボランティアセンター機能の充実を支援しました。市の行政情報やイベント情報等について、分かりやすく多様な方法により発信するとともに、移住希望者が本市の魅力を感じられるよう情報発信しました。市民参加の活性化及び情報共有の推進、魅力ある情報発信に努める必要があります。					
各施策の展開に対する令和3年度の主な成果と課題	01 市民参加活動の推進					
	指標名	ボランティア登録団体数				
	単位	団体	現状値（R元年度）	93	目標値（R7年度）	100
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	103	—	—	—	—
	達成率	103.0	—	—	—	—
	市民コメントや審議会等を実施したほか、市公式SNSを活用し、周知した結果、複数の意見が寄せられました。市社会福祉協議会へ補助金を交付し、ボランティア団体活動の支援、日高ボランティアネットの強化により登録団体数の増加につながりました。高齢化による会員不足の解消を図る必要があります。					
	02 地域コミュニティ活動の促進					
	指標名	区加入世帯数				
	単位	世帯	現状値（R元年度）	18,870	目標値（R7年度）	19,000
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	18,506	—	—	—	—
	達成率	97.4	—	—	—	—
	地域のつながりを高め、地域課題を解決し、安心して暮らしやすいまちづくりのため、市コミュニティ協議会への助成を行うとともに、市行政の円滑な推進を図り、自治会活動の円滑と地域コミュニティの活性化を支援するため、区運営交付金を交付しました。					
	03 広報広聴・情報発信・情報公開の推進					
	指標名	アプリダウンロード数				
	単位	件	現状値（R元年度）	4,413	目標値（R7年度）	7,500
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	6,711	—	—	—	—
	達成率	89.5	—	—	—	—
	市の行政情報やイベント情報を、毎月1回の「広報ひだか」の発行、市ホームページ、SNS、アプリ等を活用するとともに定例記者会見や報道機関への情報提供を行い、市の行政情報やイベント情報を分かりやすく発信しました。また、条例に基づく公文書の開示、個人情報の適正な取り扱いに努めました。					
	04 魅力を活用した情報発信					
	指標名	ホームページ閲覧数				
	単位	件	現状値（R元年度）	807,534	目標値（R7年度）	850,000
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	2,012,233	—	—	—	—
	達成率	236.7	—	—	—	—
	若い世代や子育て世帯の移住希望者が本市で生活するイメージが湧くように、そして市の魅力を感じられるよう、市ホームページ、SNS、アプリ等を活用して情報発信しました。また、電車内モニターにおける動画広告の放映や移住定住パンフレットを作成して、市の魅力をPRしました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					

事務事業評価

施策の展開	01 市民参加活動の推進		
施策の展開概要	① 市民が市政に参加し、市民と行政が協働して愛着と誇りのある住み良いまちづくりを進めるため、日高市市民参加条例に基づく市民参加の推進を図るとともに、日高市社会福祉協議会のボランティアセンター機能の充実に支援し、ボランティア活動等を振興します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
市民表彰事務	A	各分野で活躍されている市民の励みとなり、公益的活動が活性化され、市民との協働のまちづくりを推進することができました。	地域で地道に活動され、市の発展に尽くされている方々に感謝状を贈呈できるよう、区長会議等でも広く周知を図り、被表彰者の把握に努める必要があります。
政策秘書課			
187			
2			
市民参加推進事務	A	市民コメント、審議会等で6件の市民参加手続を実施しました。広報ひだかや市ホームページへの掲載だけでなく、SNSを活用し、周知に努めました。	SNSを活用するなどして、複数の意見をいただくことができましたが、更に多くの意見をいただけるよう周知の方法を検討していく必要があります。
総務課			
113			
36			
ボランティア活動等支援事業	A	社会福祉協議会へ補助金を交付し、16団体の活動を支援することとともに、日高ボランティアネットを強化し、ボランティア団体の活動機会や会員の増加に寄与しました。	ボランティア団体の会員の高齢化や会員不足などが課題となっており、引き続きボランティア団体の活動情報の発信など、様々な面からの支援が必要です。
総務課			
1,274			
43			

事務事業評価

施策の展開	02 地域コミュニティ活動の促進		
施策の展開概要	① 地域におけるつながりを高め、様々な地域課題を解決し、安心して暮らしやすいまちづくりを進めるため、自治会や市コミュニティ協議会の活動を支援し、地域におけるコミュニティ活動の促進を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
コミュニティ組織育成事業	A	かわせみ賞の贈呈等、市民のふるさと意識の醸成を図るためのコミュニティ協議会事業に補助金を支出することで、地域コミュニティ活動の推進に貢献できました。	コミュニティ協議会加入促進のための周知、市民のコミュニティ意識を高める事業を引き続き実施し、地域のコミュニティ活動を推進していく必要があります。
総務課			
5, 123			
43			
自治組織及び自治団体育成事業	A	行政と地域の情報共有のため、月1回の文書交換を行うとともに、自治会加入者促進のため、転入時に自治会加入を働きかけるチラシを配布しました。	未加入世帯の増加を防ぐため、転入時だけではなく、既に居住している未加入世帯にも区への加入を働き掛けていく必要があります。
総務課			
30, 501			
44			
コミュニティ施設整備補助事業	A	地域コミュニティ活動の拠点整備に対して補助金を交付することで、活動の促進を図ることができました。	各区の施設について、全体的に老朽化が進んでおり、改修工事の補助金要望の増加が予想されます。単年度に集中することがないように呼びかけていく必要があります。
総務課			
8, 046			
44			

事務事業評価

施策の展開	03 広報広聴・情報発信・情報公開の推進		
施策の展開概要	① 広報ひだか、市ホームページ、SNS、アプリなどを活用し、市からのお知らせや市民が必要とする情報を分かりやすく発信します。 ② 市民提案箱や市ホームページのお問い合わせフォームなどにより市民からの意見や提言を広く受け付け、市政に反映できるよう努めます。 ③ 開かれた市政を推進するために、公文書の適切な整理・保管をするとともに、情報公開条例に基づく公文書の開示の求めに対して適正に対応し、又は市民への説明責任を果たし、市政への市民参加を推進します。また、個人情報適切に管理するとともに、個人情報保護条例に基づき、制度の適正な運用を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
議会報発行事務	A	議会だよりの発行により、議案の議決状況や議会の活動状況を広く周知することで、議会に対する理解と関心を深めることができました。	議会だよりは市議会議員から構成された議会だよりの編集委員が主体で作成しています。引き続き委員を中心に市民の皆さんが親しみを持てるような議会報の作成に努めます。
議会事務局			
1,339			
252			
議会会議録調製等事務	A	冊子による会議録及び委員会録の調製と会議録検索システムによる情報提供ができました。インターネットによる議会の録画配信により、本会議の様子を公開できました。	インターネットによる録画配信については、閲覧者数が増加するような取組と、早期に配信できるような手法を検討します。
議会事務局			
3,314			
252			
法規審査事務	A	条例等の制定改廃について、日高市法規審査会を開催し、適正な審査を行いました。	地方分権の進展に伴い、法規審査が必要な案件が増加しています。広く情報収集を行い、適切に対応する必要があります。
市政情報課			
3,460			
13			
文書管理事務	A	業務上の基礎である文書の整理・保管について、法令及び市の基準に基づき、適正に実施しました。このことで、適正な情報公開が実施されました。	保存文書の増加に伴い、保管場所の確保が必要となってきています。紙による保管の是非を含め検討が必要となってきています。
市政情報課			
1,861			
13			
情報公開・個人情報保護事務	A	条例に基づく公文書の開示（公開）請求に対して適正に対応するとともに、市政に関する情報（個人情報を除きます。）を市民に提供できるよう努めました。	公文書の開示等の際には、当該文書の所管課との迅速な連絡調整が求められます。そのため、職員の情報公開に対する意識啓発が必要です。
市政情報課			
1			
14			
広報事務	A	自治会に加入していない人に広報紙が届けられるように、JR高麗川駅、武蔵高萩駅に配架したほか、マチイロやマイ広報紙を利用し、配信しました。	広報ひだかでは紙面に限りがあるため、QRコードを利用するなど市ホームページやSNSを活用し、情報提供していく必要があります。
市政情報課			
9,899			
14			
ウェブ情報発信運営事務	B	誰にでも分かりやすいホームページにするため、アクセシビリティに配慮するよう努めました。	市民の目線に立ち、市民のニーズに応じた情報を分かりやすくする工夫が必要です。
市政情報課			
2,750			
15			

文書発送・送達等管理事務	A	コピー機及びコピー用紙等の発注を一元管理することで、契約単価の縮減を図るとともにコピー用紙の使用量削減を呼びかけました。	印刷やコピーについて必要最小限とするように呼びかけ、紙類の使用量についてより一層の節減を図る必要があります。
総務課			
27,220			
42			
行政手続条例事務	A	各課からの相談に対応し、条例等に基づく処分等の行政手続を適正に行うとともに、根拠等についても丁寧に説明するよう助言を行いました。	地方分権の進展により、市が処理する事務が増加しています。個々の事務について正しく理解し、運用していくことが必要です。
市政情報課			
0			
—			
広聴事務	A	市民提案でいただいたご意見・ご要望をホームページに掲載することで、市民の皆さんと情報共有することができました。	市民の皆さんから寄せられたご意見やご要望を参考に、市民の皆さんの視点に立って、丁寧かつ誠意ある対応をし、市政により関心をいただけるよう努めます。
市政情報課			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	04 魅力を活用した情報発信		
施策の展開概要	① 市内外の若い世代や子育て世帯に向けて、本市の様々な魅力を市ホームページやSNS、アプリなどを活用し情報発信することで、「住みたい、住み続けたい」と思う人を増やします。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
移住定住促進事業	A	市ホームページ内にある「ひだか暮らし」のページについて移住希望者が本市で生活するイメージを抱けるようなページ構成への変更やイラストマップの追加等を行いました。	シティプロモーションを推進し、市の認知を向上させ、魅力を広く伝えることで、市ホームページ閲覧者数に繋げることが必要です。
政策秘書課			
3,724			
5			

施策評価

基本方針	07 信頼される行政運営を推進するまちをつくる					
施策	25 行政運営					
施策目標	時代のニーズを踏まえ、持続可能で効率的な行政運営を目指します。					
評価指標	指標名	行政運営の取組に対する満足度				
	単位	点(5点満点)	現状値 (R元年度)	2.85	目標値 (R7年度)	3.00
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	3.04	—	—	—	—
	達成率	101.3	—	—	—	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	524,908	—	—	—	—
	実績	464,773	—	—	—	—
【施策評価】評価責任者	総合政策部長					
施策目標・評価指標に対する令和3年度の主な成果と課題	人口減少社会に突入し、新たな行政課題や市民ニーズを踏まえ、民間事業者と包括連携協定を結び、相互の強みを生かした行政サービスの提供を図りました。また、提出書類の押印廃止に伴う手続きのオンライン化の推進やコロナ禍における新しい生活様式を踏まえたWeb会議を試行するなど、市民サービスの向上と効率的な行政運営に取り組みました。限られた人員で持続的に行政サービスを提供していくため、近隣自治体との連携を強化し、時代のニーズに合わせた行政運営を行う必要があります。					
各施策の展開に対する令和3年度の主な成果と課題	01 持続可能な行政運営の推進					
	指標名	職員研修参加者数（延べ）				
	単位	人	現状値 (R元年度)	529	目標値 (R7年度)	800
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	660	—	—	—	—
	達成率	82.5	—	—	—	—
	行政課題に的確に対応できるように組織・定数の適正配置に努めました。また、第1期日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略における事業の取組状況を把握し、効果の検証を行うほか、コロナ禍における新しい生活様式を踏まえたWeb会議を試行するなど、効率的な行政運営に取り組みました。					
	02 広域行政・産学官連携の推進					
	指標名	産学官連携事業数				
	単位	事業	現状値 (R元年度)	91	目標値 (R7年度)	100
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	53	—	—	—	—
	達成率	53.0	—	—	—	—
	民間事業者と包括連携協定を結び相互の強みを生かした行政サービスの提供を図るとともに、市域を超えて共通する行政課題の解決に取り組む「第3次埼玉県西部地域まちづくり構想・計画」を策定しました。また、川越都市圏まちづくり協議会、埼玉県西部地域まちづくり協議会の各市町と公の施設を相互利用しました。					
	03 情報化の推進					
	指標名	行政手続のオンライン化件数				
	単位	件	現状値 (R元年度)	44	目標値 (R7年度)	75
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	210	—	—	—	—
	達成率	280.0	—	—	—	—
	市民サービスの向上及び行政手続きのデジタル化を進めるため、書類への押印を廃止し、手続きのオンライン化を進めました。また、スマート自治体を推進するため、パソコン作業を自動化し業務の効率化を図るため、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を導入しました。					
	04 市民サービスの向上					
	指標名	窓口対応の総合評価（満足度）				
	単位	%	現状値 (R元年度)	84.0	目標値 (R7年度)	90.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	83.1	—	—	—	—
	達成率	92.3	—	—	—	—
	人権・行政・法律・税務・労働・就労・消費生活の各種相談の情報を広報やホームページなどを通じて広く市民に提供するとともに、市民が気軽に相談できる機会の充実を図りました。また、税務・住民基本台帳・戸籍・旅券等の窓口業務についてはスムーズなことを心がけ、市民サービスの向上が図れました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					

事務事業評価

施策の展開	01 持続可能な行政運営の推進		
施策の展開概要	① 限られた経営資源の中、必要な施策を着実に実施するため、各施策、事業の見直しや効率化などの行政改革に努めます。 ② 複雑・高度化する行政課題に的確に対応するため、総合力と柔軟性の高い組織体制を構築します。 ③ 執行機関等における組織及び運営の合理化を図るとともに、適切な事務執行に努めます。 ④ 研修等による職員の能力開発や人材育成を推進し、職員の健康を保持増進するなど、総合的な人事管理体制の充実を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
議員報酬等事務	A	毎年出される人事院勧告及び地方公務員等共済組合法施行規則等の一部を改正する省令を注視し、事務を進めました。	引き続き人事院勧告及び地方公務員等共済組合法施行規則等の一部を改正する省令を注視していきます。
議会事務局			
121,016			
253			
議会運営事務	A	本会議や委員会、全員協議会、代表者会議の会議について、適正な運営が行われたと評価できます。新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、事務を進めました。	引き続き議会運営に係る事務の適正な処理に努めます。
議会事務局			
752			
253			
議員研修事務	A	政務活動費収支報告書の写しを市ホームページで公開し、使途の透明性の確保を図りました。行政視察研修を隔年実施とすることで効率的かつ効果的な議員研修となります。	引き続き政務活動費の交付及び行政視察研修に係る事務の適正な処理に努めます。
議会事務局			
1,681			
254			
議会図書室管理事務	A	議会図書室を整備し、維持することができました。	議員等への貸出件数が増加するよう、ニーズに合った図書の選定を行う必要があります。
議会事務局			
691			
254			
市長・副市長秘書事務	A	スケジュール管理を適切に行い、市長及び副市長の業務を円滑に遂行することができました。	執務が滞ることがないよう、市長・副市長及び関係機関等との連絡体制を常に整えておく必要があります。
政策秘書課			
1,537			
2			
職員表彰事務	A	永年勤続表彰対象職員等の勤労意欲、公務遂行意欲の増進が図れました。	更なる勤労意欲、公務遂行意欲の増進が図れるよう、職員への周知方法を工夫する必要があります。
政策秘書課			
3			
3			
争訟事務	A	令和3年度は、2件の法的紛争（訴訟、民事調停など）がありましたが、いずれも、顧問弁護士、所管課と調整を図り、適切に訴訟対応を行うことができました。	法的紛争に係る事務については、専門的な知識経験が求められるため、職員の資質・能力の向上を図る必要があります。
市政情報課			
197			
12			

人事給与関係事務	A	職員採用試験及び昇任試験の試験問題、採点、管理に関し、専門業者を利用することにより、公正かつ安定的な試験の実施を行うことができました。	定年延長制度等による任用形態の多様化、また、制度改正等に対応できるよう、適正な人事・給与情報等の管理を継続的に行っていくことが必要となります。
総務課			
3,936			
37			
職員福利厚生事務	A	メンタルヘルスセミナー、対面カウンセリング特別相談を新たに実施し、職場全体のメンタルヘルス対策に積極的に取り組みました。	臨床心理士、産業カウンセラー等によるメンタルヘルス相談窓口（電話相談含みます。）について、更に利用しやすい環境づくりに努める必要があります。
総務課			
5,630			
37			
職員能力開発事務	A	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、集合研修の実施が依然困難な状況でしたが、オンライン研修への切り替えなど柔軟な対応を行うことができました。	職員の危機管理意識を高め、業務における法令遵守を図っていくため、コンプライアンスやハラスメントに係る啓発等を継続的に実施していく必要があります。
総務課			
613			
38			
総務管理事務	A	感染症のまん延により市役所業務に影響が出ることがないように、サテライトオフィスの設置など分散勤務を実施し、職員同士での感染を未然に防ぎました。	市が加入する賠償責任保険について、補償内容や実績に対して保険料が適正な契約内容となっているか、確認及び検討していく必要があります。
総務課			
1,225			
38			
平和啓発事業	A	児童の安心安全を第一に考え平和記念式典への派遣事業を中止し、代替事業として小学5・6年生と中学生を対象に標語の募集を行い平和意識の高揚を図りました。	小中学生への平和啓発による成果を市民全体へ波及させる取組を検討する必要があります。
総務課			
57			
39			
会計審査事務	A	国の交付金による伝票が増加する中で、間違いのない伝票作成ができるよう支援をするとともに、審査・確認により適正な会計処理を行うことができました。	年度末の出納整理期間には、新旧年度の伝票が多く、審査業務量が増加します。今後も適正な会計処理に努めていきます。
会計課			
27			
248			
決算等調製事務	A	決算の調製や源泉徴収票等の発行について、遅滞なく適正に行うことができました。	限られた期間や人員の中でも、適正な決算書や源泉徴収票等の発行に努める必要があります。
会計課			
9			
248			
現金等出納事務	A	例月出納検査において、特に指摘事項がなく、適正な出納事務を行うことができました。	年度末の出納整理期間には、歳入歳出の出納処理の業務量が増加します。今後も正確、迅速で効率的な事務を行う必要があります。
会計課			
2,524			
249			
収入証紙等売りさばき事務	A	埼玉県収入証紙及び収入印紙の販売を行い、市民の利便性の向上を図りました。	在庫切れを起こすことのないよう、販売状況を確認しながら管理を行っていく必要があります。
会計課			
7,885			
249			
企画総務事務	A	部長会議において、新しい生活様式を踏まえた会議手法を検討するため、Web会議システムを利用した会議の試行をしました。	経営戦略会議において事前に資料を印刷・配布していますが、環境への配慮の点から、電子での共有等で可能な限りペーパーレス化に努める必要があります。
政策秘書課			
0			
5			

総合計画策定及び推進事務	A	行政評価について、内部評価に加え、外部評価を実施することで、市民への説明責任を果たすとともに、行財政運営の改善につなげることができました。	より多くの市民から市の施策に対する評価を受ける仕組みを検討する必要があります。
政策秘書課			
307			
6			
総合戦略推進事務	A	第1期日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略における関連施策や事業の取組状況を把握するとともに、各種事業で設定した数値目標の実績により効果の検証を行いました。	第2期日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略を推進するため、関係各所と連携した取組を進めるとともに、施策や事業に関する適切な進捗管理を行う必要があります。
政策秘書課			
13			
7			
東京2020オリンピック関係事務	A	関係機関と調整を図りながら、聖火リレーを無事に開催することができました。また、当日はトークイベントを開催するなど魅力のある催しを行うことができました。	本事業は令和3年度で終了となりますが、本事業での業務経験を今後開催されるイベントで生かしていく必要があります。
政策秘書課			
10,417			
7			
市制施行30周年記念事務	A	市制施行30周年を記念して、社会情勢を踏まえながら式典を催すことができました。また、特設サイトを開設するなどして市制施行30周年をより広く周知しました。	本事業は今年度で終了となりますが、今後同様の事業を行う場合、本事業での業務経験を生かし、より魅力的な事業を行っていく必要があります。
政策秘書課			
2,122			
8			
公平委員会運営事務	A	最新の人事行政、社会一般情勢及び最新の判例集により情報の習得に努めることができました。	参加する各種研修会等を精査することで、歳出の削減に努めていきます。
公平委員会			
77			
268			
自衛官募集事務	A	自衛隊入間地域事務所からの広報ひだか掲載依頼に滞りなく対応しました。また、成人式で自衛官募集のパンフレットを配布し、周知を図りました。	募集の周知については、広報ひだかだけでなく市ホームページへの掲載など、より市民に周知できる方法を検討していく必要があります。
総務課			
0			
45			
選挙管理委員会運営事務	A	選挙人名簿の調製や委員会事務等について、公職選挙法の規定に従い適正に行いました。	研修会等が中止となった場合に、選挙管理委員及び事務局職員ともに知識の向上に努める手段が必要となります。
選挙管理委員会事務局			
1,581			
260			
選挙啓発事務	A	特に若年層の投票率向上のため、18歳の誕生日を迎えた市民へバースデーカードを送付しました。また、中学3年生を対象に啓発講座を実施しました。	近年の投票率の低下を鑑み、明るい選挙推進協議会と連携し、一層の啓発が必要であると考えます。
選挙管理委員会事務局			
214			
261			
衆議院議員総選挙事務	A	公職選挙法に基づき、適正に執行することができました。	投票率向上のため、選挙時啓発の強化に努める必要があります。
選挙管理委員会事務局			
19,982			
262			
監査事務	A	年度当初に作成した監査計画に基づき、定例監査、財政援助団体等監査、決算審査及び例月出納検査を実施することができました。	監査委員制度の改正や監査基準など、国、県及び近隣市町の動向を注視していく必要があります。
監査委員事務局			
1,351			
264			

教育委員会運営事務	A	必要最小限の支出にとどめ、適正な事業を行うことができました。	交際費の支出については、今後も基準に基づき適正に執行できるよう努める必要があります。
教育総務課			
1,410			
202			
教育委員会総務事務	A	必要最小限の支出にとどめ、適正な事業を行うことができました。	引き続き、教育委員会事務局の適正な運営に努めていく必要があります。
教育総務課			
699			
203			
議会及び議案事務	A	市議会への議案提出及び全員協議会の対応を適正に行うことができました。	地方自治法等に規定する議会の議決及び報告が必要な事項について、適切に対応する必要があります。
市政情報課			
0			
—			
職員提案等推進事務	A	報奨された提案が「日高市のSNSを活用した市内事業者の支援」であり、時代のニーズに合った提案を採用することができました。	提案数が3件に留まってしまったため、職員が自ら政策等を勘案し、提案しやすい環境を更に整え、継続的に制度の周知を図る必要があります。
政策秘書課			
10			
6			
組織管理事務	A	第5期定員管理計画に基づき、適正な定員管理を行うことができました。	定年延長制度の動向を注視し、職員定数の適正化に努める必要があります。
政策秘書課			
0			
—			
行政改革推進事務	A	公の施設の使用料に係る減免基準について規則の案を作成しました。また、市民課・税務課の窓口でキャッシュレス決済を導入するための検討をしました。	行政改革の推進による改善の効果について、市民の声を聞きながら、検証していく必要があります。
政策秘書課			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	02 広域行政・産学官連携の推進		
施策の展開概要	① 近隣自治体と連携して、地域資源や特性を生かした魅力と活力あるまちづくりに取り組みます。 ② 企業や大学等と連携し地域の活性化や地域課題の解決に向けた取組を進めます。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
広域行政推進事務	A	「第3次埼玉県西部地域まちづくり構想・計画」を策定しました。また、川越都市圏まちづくり協議会の各構成市町との協定に基づき、公の施設を相互利用しました。	今後、埼玉県西部地域まちづくり協議会の創立35周年を記念して事業を行いますが、より多くの人に興味を持っていただくために、魅力ある事業を行う必要があります。
政策秘書課			
247			
8			
基地対策関係事務	A	要望活動に参加し、基地周辺対策の改善に取り組みました。	基地周辺対策については、引き続き近隣自治体と協力して取り組んでいく必要があります。
危機管理課			
45			
53			
広域飯能斎場組合事務	A	広域飯能斎場組合に係る負担金について遅滞なく、適切に支出しました。	施設、設備の老朽化や人口ピラミッドを勘案した、中長期的な改修計画の検討が必要です。
環境課			
21,945			
74			
産学官連携推進事務	A	市民サービス向上に向けて、高麗川カントリー倶楽部、明治安田生命保険、日高都市ガス・東京ガスと3件の包括連携協定を結びました。	市民に対して新たにどのようなサービスが提供できるか、連携先と協議を重ねていく必要があります。
政策秘書課			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	03 情報化の推進		
施策の展開概要	① 県市町村共同電子申請などの共同システムを活用し、業務の標準化、システムの共同化を推進します。 ② 市民への直接的なサービス向上につなげるためのスマート自治体を推進し、業務の自動化、省力化に伴う情報セキュリティリスクに対応するため、情報セキュリティ確保に努めます。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
情報化推進・ICT管理運営事務	A	情報セキュリティ監査実施による職員の情報セキュリティ意識の向上及び押印廃止に伴う手続きのオンライン化による行政サービスの向上に寄与しました。	事務の多様化、複雑化に対応していくためのデジタル人材が不足しています。また、行政サービス及び業務効率の向上のため、行政手続のオンライン化を更に進めます。
市政情報課			
157,753			
16			
統計調査管理事務	A	登録調査員数は基準数(32人)を超える62人を確保することができました。	現在の登録調査員は70歳代以上が中心であり、登録調査員の若返りを進める必要があります。
市政情報課			
14			
17			
各種統計調査事務	A	調査票未回収事業所には、督促状の送付だけでなく、直接電話し、協力を依頼しました。	調査結果の精度を高めるため、調査員への調査方法の伝達の仕方を工夫します。また、統計調査員の事故防止など安全対策を強化します。
市政情報課			
1,497			
18			

事務事業評価

施策の展開	04 市民サービスの向上		
施策の展開概要	① 市民が利用しやすい窓口にするため、他の自治体や民間事業者の有するノウハウを参考に市民サービスの質の向上及び業務の効率化を図ります。 ② 市民が抱える悩みごとや困りごとの解決を支援するため、関係機関との連携を進めながら、相談に応じる機会の充実を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
人権相談事業	A	人権擁護委員が人権相談や子どもの人権ＳＯＳミニレターに回答し、市民の心配ごとや子どもの悩みごとの解決に寄与しました。	人権侵害を受けた方が相談できる体制の充実と複雑な事例にも適切に対応するため、関連する行政機関との連携を強化していく必要があります。
総務課			
494			
39			
行政相談事業	A	市民の身近な相談の場として実施しており、行政に関する意見や苦情等の問題解決に寄与することができました。	個別の相談時間を設定しておらず、内容によっては一つの相談が長引く可能性があるため、相談員との連携を強化する必要があります。
総務課			
116			
40			
法律相談事業	A	市民が抱える様々な問題に関して、弁護士が適切な助言を与えながら解決に導くことにより、市民生活の安定に寄与することができました。	相談時間の設定等について、市民のニーズに引き続き動向を注視していく必要があります。
総務課			
1,344			
40			
臨時運行許可事務	A	公道を走行することができない自動車に対し、特定の目的・条件に限って特例的に運行を許可することにより、社会の円滑な経済活動等に寄与することが期待できます。	臨時運行番号標と許可証の返却期間を過ぎても未返却の利用者がいるため、早めの督促が必要です。自賠責保険証書の原本提示及び有効期限の確認に注意が必要です。
市民課			
20			
104			
行政不服審査事務	A	不服申立て事案が生じた場合、職員の中から審理員を指名することとなります。審理員の役割について解説した手引書を作成し、制度の周知を図っています。	新たな行政不服審査制度に対応するため、職員一人一人の意識を高めていく必要があります。
市政情報課			
0			
15			
マイナポイント事業推進事務	A	マイナンバーカードの受け渡しを行う市民課がある１階のロビーに、マイキーＩＤ設定支援窓口を開設することで、市民が利用しやすい環境を整備しました。	マイナンバーカードの発行枚数を増やすことで、より効果的な事業の運営が見込めます。
政策秘書課			
6,529			
9			
税務相談事業	A	税務相談は、相談者が集中することがあることから、待ち時間や相談時間の目安をご案内し相談が円滑に進めることができました。	新型コロナウイルス感染症の影響により、10回開催するところを7回の開催となりました。
税務課			
50			
62			

リモート窓口推進事業	A	本庁舎での密を避けるとともに、出張所来所者と本庁職員がお互い顔が見える環境で相談を行うことが可能となりました。	リモート窓口を多くの方々に利用していただけるよう、広く周知していく必要があります。
市民課			
525			
106			
住民基本台帳事務	A	住居関係の記録を適正に管理し、証明書等を発行することにより、公正な行政サービスの提供ができました。個人番号カード申請及び交付等の事務を適正に行えました。	正確かつ迅速な業務が遂行できるよう、事例研究や勉強会を実施するなど、常に職員の資質向上に努める必要があります。
市民課			
45, 652			
106			
戸籍事務	A	多様で複雑化する戸籍届出に対応するため、書籍や通知の情報収集に努め、事務の向上を図りました。届書に添付すべき書類の審査を徹底し、適正な戸籍編製を行いました。	窓口で届書を受理する際に、戸籍の記載される内容だけでなく、届出により影響がある手続き等についても、届出人へ分かりやすく説明できるように努めます。
市民課			
10, 344			
107			
旅券事務	A	平成27年7月1日から市民課で旅券申請手続きが可能となり、市民の利便性向上につながりました。申請受付を窓口業務委託し、職員の事務負担の軽減を図りました。	法改正が随時行われるため、正確かつ迅速な業務が遂行できるよう、窓口業務スタッフや職員は知識の向上に努める必要があります。
市民課			
2, 916			
107			
コンビニ交付事業	A	令和4年1月17日からコンビニ交付事業を開始し、市役所閉庁時においても各種証明書の交付が可能となり、市民の利便性の向上を図ることができました。	コンビニ交付を利用するためには、個人番号カードの取得が前提となるため、カード交付率の向上を図るとともに、コンビニ交付事業の周知を進めることが必要です。
市民課			
28, 995			
108			
消費生活相談事業	A	若年層に向け、成人式で消費者トラブル対策本を配布しました。また、消費生活相談員が最新の知識を持って相談に対応できるよう、研修参加を支援しました。	現代の消費生活に関するトラブルは多様化、煩雑化しており、幅広い年齢層が被害に遭うおそれがあります。被害を未然に防ぐため、様々な形での啓発が必要です。
産業振興課			
321			
102			

施策評価

基本方針	07 信頼される行政運営を推進するまちをつくる					
施策	26 財政運営					
施策目標	健全で効率的な財政運営を行います。					
評価指標	指標名	財政力指数				
	単位	—	現状値（R元年度）	0.88	目標値（R7年度）	0.88
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	0.86	—	—	—	—
	達成率	97.7	—	—	—	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	3,987,395	—	—	—	—
	実績	3,967,072	—	—	—	—
【施策評価】評価責任者	総合政策部長					
施策目標・評価指標に対する令和3年度の主な成果と課題	将来の財政負担を見据えた地方債の借入れを行うとともに、未利用地の公共物5件、2,393.80㎡の処分（土地売却）を実施しました。また、適正な課税を行い、市税の納期内納付を推進し財源の確保に努めました。契約事務においては、電子入札の活用により、入札の透明性、公平な公共工事等の入札及び契約を行うことができました。今後も安定した歳入の確保に努め、人口の推移や財政状況、施設の劣化状況に合わせて、安全性の確保を図りながら、施設の最適化を推進していく必要があります。					
各施策の展開に対する令和3年度の主な成果と課題	01 健全な財政運営の推進					
	指標名	将来負担比率				
	単位	%	現状値（R元年度）	—	目標値（R7年度）	350.0未満
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	—	—	—	—	—
	達成率	—	—	—	—	—
	財政状況の公表や各種財政指標、統一的な公会計制度の基準による財務書類の作成により、財政運営の資料として活用しました。また、契約事務においては、随意契約におけるガイドラインを策定し、契約の公平性や透明性を向上させました。					
	02 財源の確保					
	指標名	市税の収納率				
	単位	%	現状値（R元年度）	97.5	目標値（R7年度）	97.6
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	98.0	—	—	—	—
	達成率	100.4	—	—	—	—
	金融機関やコンビニエンスストアなど各種納税方法を用意し、納税の利便性を確保しました。また、納税コールセンターによる電話催告等を行い、滞納者に自主納付を促しました。納付がない者に対しては、滞納処分を執行しました。引き続き、税の公平性の確保、収納率向上に努めていく必要があります。					
	03 公有財産の適正な維持管理					
	指標名	公共施設の面積				
	単位	㎡	現状値（R元年度）	128,366.79	目標値（R7年度）	10%削減
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	127,977.7	—	—	—	—
	達成率	3.0	—	—	—	—
	平成28年3月に策定した日高市公共施設等総合管理計画について、財政状況・人口状況及び将来見込みを見直し、計画の改訂を行いました。また、市有地の適正な管理のため、未利用地の公共物5件、2,393.80㎡の処分（土地売却）を実施し、施設や公有財産の最適化を推進しました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					

事務事業評価

施策の展開	01 健全な財政運営の推進		
施策の展開概要	① 将来の財政負担を見据えた地方債の借入れや将来支出の義務を負う経費（債務負担行為）の設定等を行います。 ② 自然災害など突発的な事情に対処できるように財政調整基金を保有するとともに、公共施設における施設の改修等を踏まえた基金の運用を行います。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 （良かった点、成果を上げた点など）	改善すべき事項 （問題点、課題点、解決方策など）
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
入札・契約事務	A	電子入札の活用により、入札の透明性の確保及び入札事務の効率化を図ることができました。設計価格1,000万円以上の工事について、一般競争入札を実施しました。	電子入札は建設工事及び設計・調査・測量のみであり、物品等の入札については従来どおり紙面による入札のため、電子入札の導入を進めていく必要があります。
管財課			
975			
28			
工事検査関係事務	A	中立性、公平性に配慮した検査を実施しました。検査を通して技術の向上、安全対策の指導及び労働者の福祉の増進と雇用の安定について、受注者へ働きかけました。	早期発注を推進する必要があります。検査集中期は、検査員の不足が生じるため、技術系職員の配置や担当課検査の拡充など検討していく必要があります。
管財課			
59			
28			
共通物品管理事務	A	各課で使用する共通物品を適切に管理することができました。封筒や物品等を常備しておくことにより、急な必要時においても対応することができました。	各課内に未使用の物品在庫があるなどの傾向が見受けられたため、適正な物品請求を行う必要があります。
管財課			
950			
29			
財政総務事務	A	予算編成過程や財政状況について、広報ひだかや市ホームページを活用し、公開しました。市債の選択において、交付税措置のあるものや金利の低いものを選択しました。	市債の借入れを行う場合は、後年度の財政負担を考慮し、交付税措置のある地方債や利率の低い金融機関等からの借入れを行う必要があります。
財政課			
24, 270			
20			
市長車維持管理事務	A	車両の維持・管理・メンテナンスまでの契約を締結し、事務の軽減を図ることができました。任期付職員が専任で運転業務を行い、より安全に遂行できました。	朝夕の送迎業務については、職員も対応することがあるため、負担の軽減を図っていく必要があります。
政策秘書課			
1, 148			
4			
財政調整基金管理運用事務	A	適切な管理運用を行うことができました。	特にありません。
財政課			
990, 442			
21			
減債基金管理運用事務	A	適切な管理運用を行うことができました。	特にありません。
財政課			
293, 355			
21			

公共施設整備基金管理運用事務	A	公共施設の整備に係る財源として公共施設整備基金を取崩し、一般会計への繰入金として繰り入れました。	限りある基金の計画的な取崩しと、将来必要となる公共施設の整備や改修費用の積み立てを考慮した管理運用が必要となります。
財政課			
564			
22			
民生費国・県支出金等返還事務（生活福祉課）	A	令和2年度中に交付された国・県支出金を実績に基づき精算した結果、返還金が発生しました。	法令や国・県の定める基準に沿った適正な事務を行う必要があります。
生活福祉課			
61,593			
110			
衛生費国・県支出金等返還事務（保健相談センター）	A	予防接種事業費等の一部が国等から交付されるため、市の財政負担を軽減することができました。	他の国等からの補助金と同様に、実績に基づいて翌年度に返還金に関する事務を実施する必要があります。
保健相談センター			
3,427			
166			
固定資産評価審査委員会運営事務	A	地方税法の規定に基づき、日高市固定資産評価審査委員会を置き、固定資産課税台帳に登録された事項に関する審査申出に備えました。	固定資産税の審査申出があった場合は、現状の予算では不足を生じます。
固定資産評価審査委員会			
31			
266			
市債元金償還事務	A	遅滞することなく、適正に借入地方債の元金償還を行いました。	特にありません。
財政課			
1,479,599			
23			
市債利子支払事務	A	遅滞することなく、適正に借入地方債の利払いを行いました。	特にありません。
財政課			
42,762			
24			
下水道事業会計助成事務	A	遅滞なく、適切に支出しました。	特にありません。
財政課			
180,484			
25			
民生費国・県支出金等返還事務（子育て応援課）	A	国・県支出金について、前年度の実績に基づき超過交付分を適正に返還しました。	国・県支出金について、前年度の実績に基づき超過交付分を適正に返還します。
子育て応援課			
43,121			
128			
民生費国・県支出金等返還事務（障がい福祉課）	A	令和2年度中に交付された国・県支出金を実績に基づき精算し、超過交付分を返還しました。	適切に返還を行いました。
障がい福祉課			
45,695			
120			
用品調達基金管理運用事務	B	用品調達事務は全課の事務を集約することで手続きの煩雑化を防ぐとともに、基金を活用し一括発注一括支払いを実施することにより、契約単価が安価に抑えられました。	購入依頼から発注までマイクロソフト社のアクセス（汎用ソフト）を使用していますが、今後、専用システムを構築し、事務効率を向上する必要があります。
管財課			
0			
—			

事務事業評価

施策の展開	02 財源の確保		
施策の展開概要	① 適正な課税を行うとともに、市税の納期内納付を推進することにより、未然に滞納を防止し、安定的な税収の確保に努めます。 ② ふるさと納税制度、企業版ふるさと納税制度の積極的な活用により、更なる自主財源の確保に努めます。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
まちづくり寄附金事務	A	新規寄附者の開拓及び寄附の間口拡大のため、寄附サイトの追加を行いました。	より多くの方に寄附をしていただけるよう、魅力的な返礼品の発掘や広報・宣伝に力を入れていく必要があります。
総務課			
499,565			
41			
企業版ふるさと納税寄附金事務	A	寄附をいただいた企業に、感謝の意を表し感謝状を贈呈しました。	企業版ふるさと納税制度や当市の寄附募集事業を知っていただくため、更なる周知が必要です。
政策秘書課			
7,150			
9			
税務証明事務	A	課税・非課税証明書のコンビニ交付を開始したことから、申請者の利便性が向上しました。	納税証明書（未納がない証明）発行時の確認を課税担当側でしており、事務分掌の関係から見直しが必要です。
税務課			
9,446			
62			
税務事務	A	税務協議会等による研修会に参加し、事務能力の向上が図れました。また、新たな事例等の情報交換等を行うことができました。	協議会等の主催する研修会や意見交換会などへ参加する際は、引き続きその内容を踏まえ、適切な職員を参加させていく必要があります。
税務課			
42,450			
63			
収税事務	A	徴収に関する知識や技術の維持向上のため、研修会に参加しました。また、市税の二重納付など、納付年度内に還付することができなかった過誤納金等を還付しました。	徴収に関する知識や技術の維持向上のため、引き続き職場内研修や県主催の研修会等へ参加していく必要があります。また、適切な還付を続けていく必要があります。
収税課			
247			
68			
個人市民税賦課事務	A	市役所の電話回線が不通にならないようコールセンターを設置し、予約を受け付けました。	予約枠が埋まらない日があったので、市ホームページなど周知の方法を見直します。
税務課			
24,809			
64			
法人市民税賦課事務	A	法人市民税課税額の減少について、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業活動に影響を及ぼしたためと推測します。	引き続き県税事務所と連携を図りながら、適正な課税処理を行っていく必要があります。
税務課			
190			
64			

固定資産税等賦課事務	A	法令に基づき適正な賦課決定を行うことができました。	引き続き法令に基づき、適正な賦課決定を行っていきます。
税務課			
37,908			
65			
軽自動車税賦課事務	A	軽自動車税の課税件数は年々増加しています。軽自動車の登録状況を踏まえ、適正な課税を行うことができました。	軽自動車税ワンストップサービスの提供開始に伴い、システム改修が必要となります。引き続き法令に基づき適正な課税を行います。
税務課			
2,398			
65			
市税収納管理事務	A	コンビニエンスストア納付やクレジットカード納付、スマートフォン決済による納付など各種納付方法を用意し、市税を収納しました。	今後も納税者が納付しやすい方法を研究していく必要があります。
収税課			
13,996			
69			
市税滞納整理事務	A	納税コールセンターの設置や催告書を送付するなどし、滞納者へ自主納付を促しました。	滞納者に対しては、引き続き自主納付を促す一方、差押などの滞納処分を執行していく必要があります。
収税課			
1,083			
69			
市たばこ税賦課事務	A	税務署、県と共同で手持品課税のための書類等を送付しました。法令に基づき適正な課税事務を行うことができました。	引き続き法令に基づく適正な課税事務を行います。
税務課			
0			
—			
収納率向上対策事務【国保】	A	コンビニエンス納付やクレジットカード納付など各種納付方法を用意し、国民健康保険税を収納しました。納税コールセンターや催告書による自主納付を促しました。	今後も納税者が納付しやすい方法を研究していく必要があります。滞納者に対しては、自主納付を促す一方、差押などの滞納処分を執行していく必要もあります。
収税課			
709			
—			

事務事業評価

施策の展開	03 公有財産の適正な維持管理		
施策の展開概要	① 公共施設の安全性を確保するため、計画的に施設の改修等を実施します。 ② 社会情勢の変化を踏まえ、公共施設の複合化や機能集約等に取り組み、施設総量の最適化やライフサイクルコストの縮減を図ります。 ③ 公有財産の適正な維持管理を図り、市が保有する未利用財産の有効活用や売却を進めます。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
議長車維持管理事務	A	整備を定期的に行うことで、議長公務の安全が確保できました。	引き続き議長公務の安全かつ効率的な遂行に努めます。
議会事務局			
90			
255			
自衛消防管理事務	A	全職員を対象とした庁舎の総合防火訓練の実施により、通報連絡及び避難誘導などの知識や技術の向上及び職員間の防災意識の高揚が図られました。	庁舎の総合防火訓練実施後における課題の整理等を的確に行う必要があります。
管財課			
4			
29			
公共施設マネジメント推進事務	A	平成28年3月に策定した日高市公共施設等総合管理計画について、財政状況、人口状況及び将来見込みを見直し、計画の改訂を行いました。	公共施設の再編・最適化には、市民と情報共有を図りながら検討を進める必要があります。
財政課			
1,325			
22			
庁舎等維持管理事業	A	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、検温カメラ等の購入及び庁舎の地下トイレ改修工事を実施し、適正な維持管理を行いました。	施設の老朽化による設備等の更新、修繕箇所が年々増加しており、より一層効率的かつ計画的な維持管理が必要となってきています。
管財課			
106,387			
30			
公用車維持管理事務	A	公用車の集中管理により、効率的、経済的な車両の運行管理を行いました。	各車両の稼働率が高まっているため、経費削減のほか効率的な運用の検討を要します。経過年数、走行距離のほか安全運転に配慮した車種への更新の検討を要します。
管財課			
12,993			
30			
公有財産維持管理事務	A	公有財産の有効活用を図りました。市有地の適切な管理のため、除草を行いました。高麗川駅西口土地区画整理事業地内の市有地の売却を行いました。	未利用地などの保有に係る除草等維持管理費用の削減、財源確保につながる売却、貸付など効率的な財産の活用に必要な取り組みがあります。
管財課			
1,725			
31			
出張所維持管理事業	A	各地域の出張所における窓口対応により、出先機関としての機能を発揮でき、地域住民へのサービス向上を図ることができました。	高齢化による交通弱者が増加する中、近くにある出張所の存在意義は高まっています。市民サービスの向上に向け、本庁との連絡調整を密に行っていく必要があります。
市民課			
697			
105			

生涯学習センター維持管理 事業	B	施設を適切に維持管理することにより、保健相談センター、図書館及び教育センターの運営を行うことができ、施設利用者に事故なく利用してもらうことができました。	施設の経年劣化や老朽化による空調設備等の各種設備の突発的な故障を防ぐために、不具合の早期発見や計画的な修繕を実施していく必要があります。
生涯学習課			
35,425			
241			